

熊本県立大学本部棟トイレ改修工事

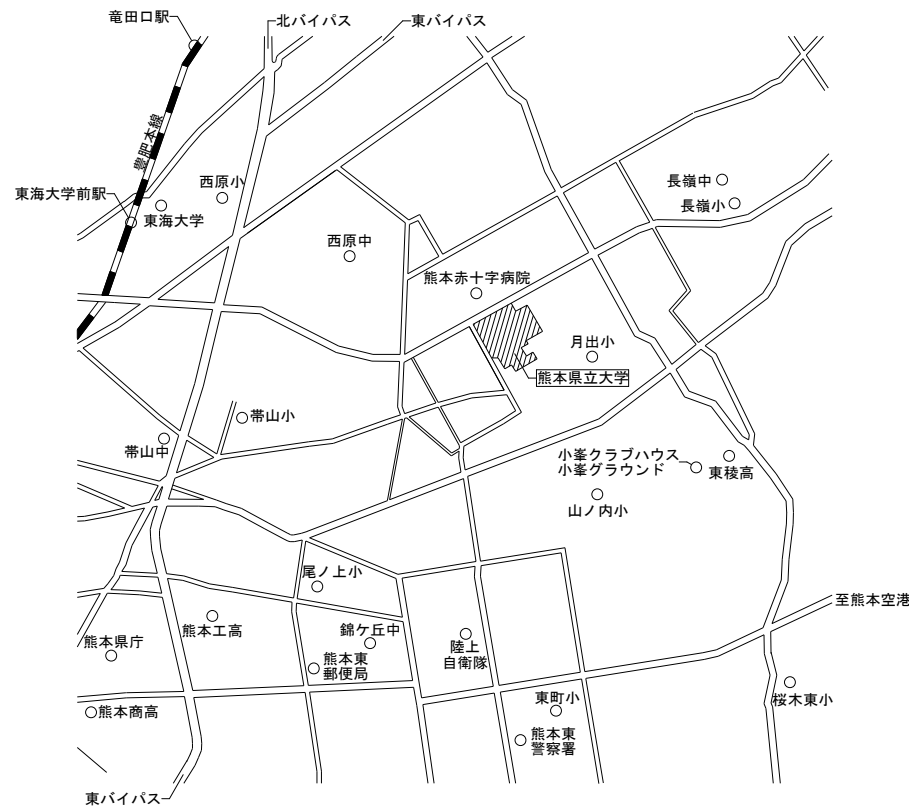
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	【 意匠図 】		【 電気設備図 】		【 機械設備図 】
A-01	建築改修工事特記仕様書 (その1)	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書
A-02	建築改修工事特記仕様書 (その2)	E-02	電灯分電盤結線図	M-02	給排水衛生設備 1階平面図 (改修後)
A-03	建築改修工事特記仕様書 (その3)	E-03	電灯設備 1階平面図 (改修・撤去)	M-03	給排水衛生設備 2階平面図 (改修後)
A-04	建築改修工事特記仕様書 (その4)	E-04	電灯設備 2階平面図 (改修・撤去)	M-04	給排水衛生設備 1・2階平面詳細図 (改修後)
A-05	建築改修工事特記仕様書 (その5)	E-05	コンセント設備 1階平面図 (改修・撤去)	M-05	給排水衛生設備 1階平面図 (改修前)
A-06	工事概要表・共通事項・付近見取図・配置図	E-06	コンセント設備 2階平面図 (改修・撤去)	M-06	給排水衛生設備 2階平面図 (改修前)
A-07	特記事項・仕上表・天井伏図	E-07	自動火災報知設備 1階平面図 (改修・撤去)	M-07	給排水衛生設備 1・2階平面詳細図 (改修前)
A-08	1階平面図			M-08	給排水衛生設備 1階平面図 (仮設)
A-09	2階平面図			M-09	給排水衛生設備 2階平面図 (仮設)
A-10	屋根伏図 (参考図)			M-10	換気設備 1階平面図 (改修後)
A-11	1階平面詳細図 (1)			M-11	換気設備 2階平面図 (改修後)
A-12	1階平面詳細図 (2)			M-12	換気設備 1階平面図 (改修前)
A-13	2階平面詳細図			M-13	換気設備 2階平面図 (改修前)
A-14	建具キープラン、建具表				
A-15	展開図				
A-16	詳細図 (既存参考図)				

工事概要表

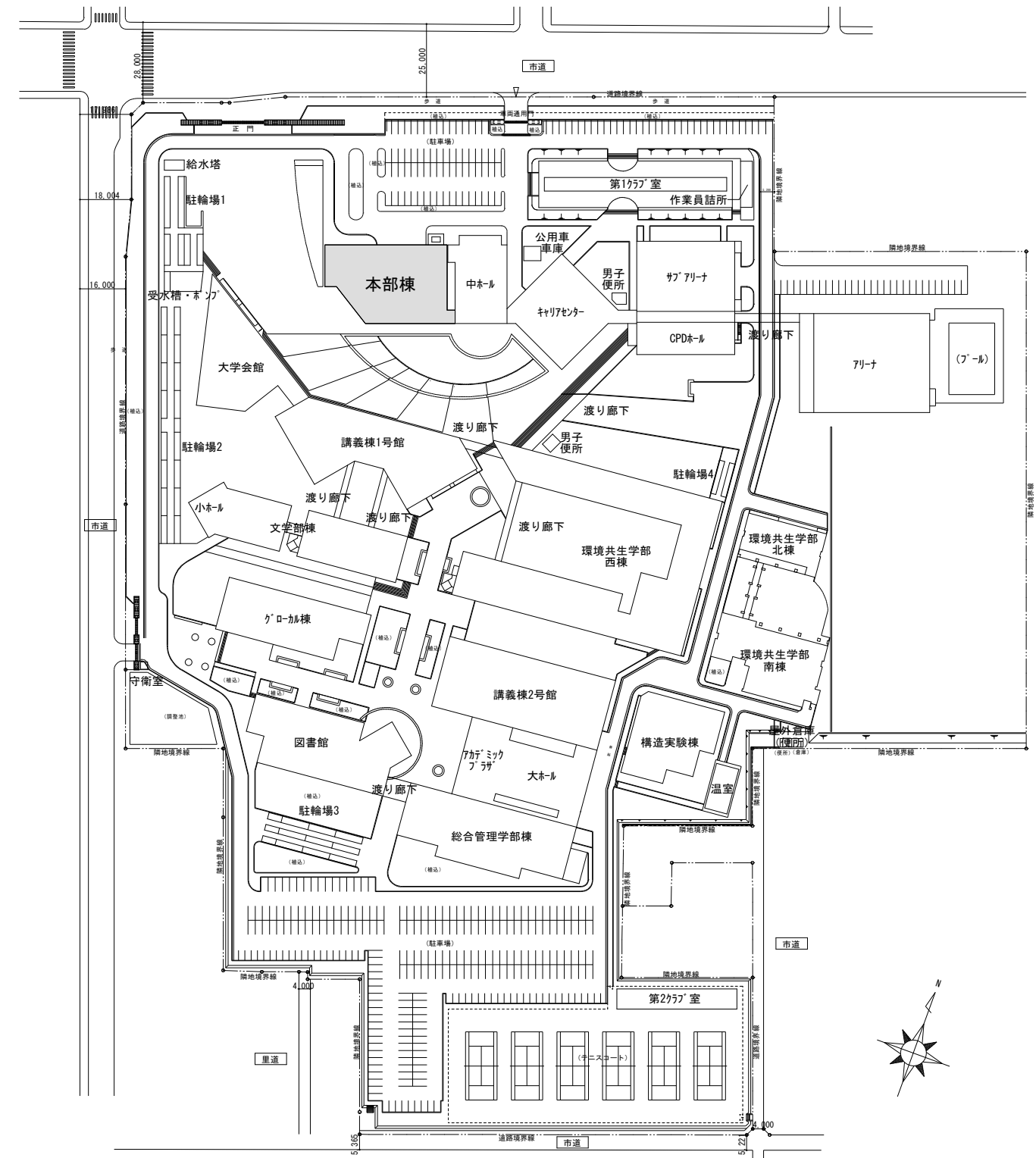
工事名称	熊本県立大学本部棟トイレ改修工事
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号（キャンパス）
建築面積	1,053.84㎡
延床面積	1,502.25㎡
構造階数	鉄筋コンクリート造 2階建
工事概要	外部：一部埋設配管更新箇所のアスファルト舗装
	内部：1階・2階トイレの内装更新、衛生器具の更新、埋設配管の更新

共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと
4	工事関係者は、所属を明らかにする腕章等を身に着け、本工事関係者である旨を明らかにすること
5	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと
6	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監督者の承認を受けること
7	本工事に使用する材料は、原則として全てF☆☆☆☆の規格に適合するものとする
8	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物を破損した場合は現況復旧とする
9	仕上げ材料の選定にあつては施工前に監督者及び発注者と十分協議の上決定すること
10	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること
11	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと
12	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること
13	工事写真及び完成写真は監督者の承認を受けた撮影者により撮影し、ファイル綴じの上、発注者に2部提出すること
14	工事関係書類は電子化を行い、指定した記録メディアで提出をすること。電子化を行う書類は監督者の指示による



付近見取図



配置図

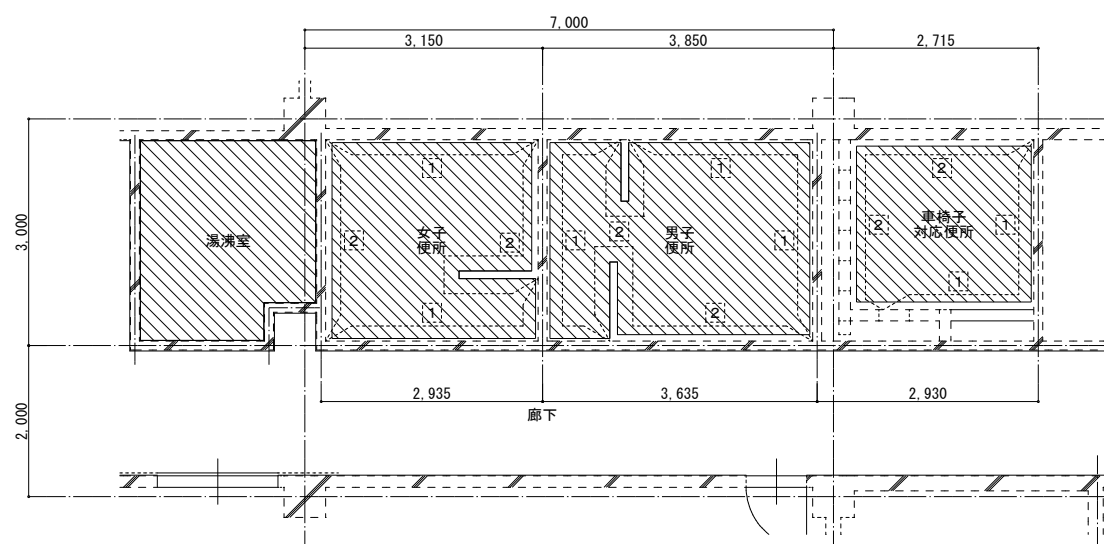
凡例
 改修対象建物を示す。

改修特記事項

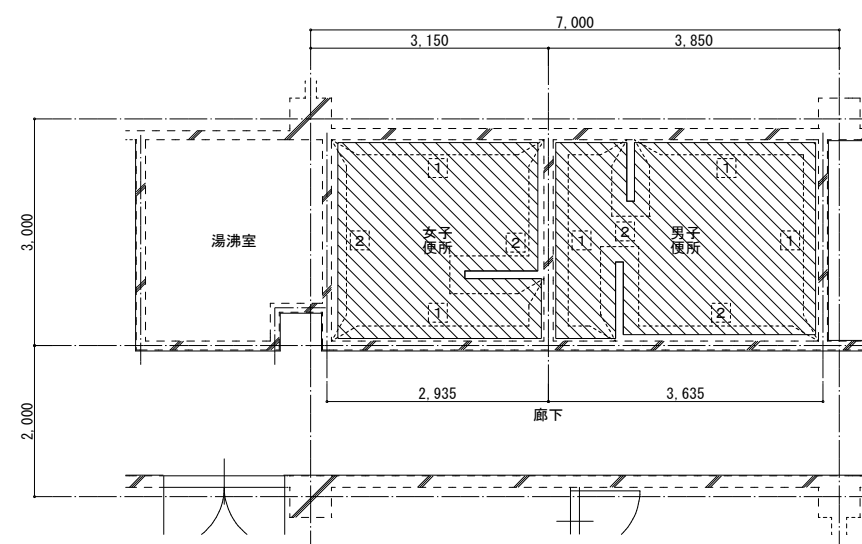
番号	特記事項	番号	特記事項
1	既設洋便器の開口塞ぎは設備工事とし、既設和便器の開口塞ぎは建築工事とする。	9	天井点検口は450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)とする。
2	和便器の開口塞ぎにあたっては、床版の既存配筋が露出する部分まで手ハツリを行うこと。露出させた既存配筋に、フレア溶接にて補修鉄筋を溶着すること。溶接長は片面10d、若しくは両面5dとする。	10	床長尺塩ビシートは、東リ 消臭NSトワレNNW同等品とする。
3	車椅子対応便所及び湯沸室の配管改修にあたり、床下はピット範囲外のみ、床版の全面撤去を行うものとする。床版を撤去する際は、周囲の既存鉄筋は40d以上残しとし、既存配筋と補修鉄筋との定着分を確保すること。	11	床ビニル床タイルは、東リ マチコV同等品とする。
4	IR室の改修にあたり、配管改修を行う箇所は床版の撤去、床の仕上げ材については全面撤去を行うものとする。床版を撤去する際は、周囲の既存鉄筋は40d以上残しとし、既存配筋と補修鉄筋との定着分を確保すること。尚、土を埋戻しする際は、確実に転圧を行うこと。	12	壁化粧ケイカル板は、ニチアス アスラックス200R同等品とする。
5	機械室の配管改修にあたり、配管改修を行う箇所は床版の撤去を行うものとする。床版を撤去する際は、周囲の既存鉄筋は40d以上残しとし、既存配筋と補修鉄筋との定着分を確保すること。	13	汚重陶板は、TOTO ハイドロセラ・フロアPU(薄型)同等品とする。
6	建物内の廃材搬出路、及び資材搬入路は、カラーコーン及びゼブラテープ等で範囲の明示し、床仕上げ材には養生を行うこと。	14	特記なき限り、軽量鉄骨壁下地はW65、ライニング下地に使用する軽量鉄骨壁下地はW100とする。
7	敷地内の工事用通路、作業員駐車場等、本工事で使用する範囲は総合仮設計画にて図面化し、大学の担当者及び監理者の承認を受けること。	15	手摺、その他設備機器が取り付く壁面は、メーカー仕様通りにり下地補強を施すこと。
8	建物内の改修にあたっては、廊下に仮設間仕切(6種)、及び木製建具を設置し、粉塵流出防止の為に仮設間仕切り合い部分の目張り処理等を行うこと。また、設置期間・設置範囲などについて大学の担当者及び監理者に確認を行い、承認を受けること。	16	改修にあたり、既設床仕上げのビニル床タイル及び既設天井仕上げの軟質石膏ボードは、アスベスト含有形成板として取り扱うものとし、公共建築改修工事標準仕様書9章1節の他、各種基準・法令に則って適切な撤去・処分を行うこと。

改修前後内部仕上表

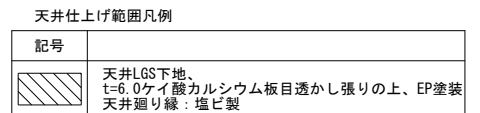
階数	室名	改修前後	床仕上げ	幅木	壁仕上げ	天井仕上げ	天井廻り縁	天井高さ	備考
1階	女子便所	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り →モザイクタイル撤去の上、ケレン処理	-	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り →タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.140	150角ビクトサイン(突出型)撤去、人研トイレブース撤去、鏡撤去、450角天井点検口撤去
		改修後	モルタル塗り(レベリング)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS製巾木 H=60	t=12.5シーリング石膏ボード(GL工法)の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS(下地張用)下地、t=12.5シーリング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.200	トイレブース、妻見鏡(SUS枠)600*1800、SUS製ライニング天板W200、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)、建具木製扉新設、150角ビクトサイン(突出型)新設、200角ビクトサイン(平付型)新設
	男子便所	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り →モザイクタイル撤去の上、ケレン処理	-	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り →タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.140	150角ビクトサイン(突出型)撤去、人研トイレブース撤去、鏡撤去、床下点検口撤去(特共)
		改修後	モルタル塗り(レベリング)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS製巾木 H=60	t=12.5シーリング石膏ボード(GL工法)の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS(下地張用)下地、t=12.5シーリング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.200	トイレブース、妻見鏡(SUS枠)600*1800、SUS製ライニング天板W150-W200、t=6.0汚重陶板、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)、建具木製扉新設、200角ビクトサイン(平付型)新設、SUS床下点検口600角更新
	車椅子対応便所	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り →床版全面撤去(周囲鉄筋残し)	-	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り →タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.090	150角ビクトサイン(突出型)撤去、200角ビクトサイン(平付型)撤去
		改修後	床版復旧・金ゴテ仕上げの上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS製巾木 H=60	t=12.5シーリング石膏ボード(GL工法)の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS(下地張用)下地、t=12.5シーリング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.200	150角ビクトサイン(突出型)新設、200角ビクトサイン(平付型)新設
湯沸室	改修前	コンクリート直仕上下地の上、長尺塩ビシート貼り →床版全面撤去(周囲鉄筋残し)	塩ビ製巾木撤去 H=60	コンクリート打放しの上、AEP塗装 一部コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り(流し側)	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.215	移設:流し台・コンロ台(550*1800)、棚(515*1760 2段)、冷蔵庫(510*530)	
	改修後	床版復旧・金ゴテ仕上げの上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	塩ビ製巾木 H=60	既存のまま	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.215	復旧:流し台・コンロ台(550*1800)、棚(515*1760 2段)、冷蔵庫(510*530)	
IR室	改修前	モルタルの上、ビニル床タイル貼り →一部床版撤去(周囲鉄筋残し)及び全面ビニル床タイル撤去後の上、ケレン処理	塩ビ製巾木撤去 H=60	コンクリート打放しの上、AEP塗装	天井LGS下地、化粧石膏ボード張り	塩ビ製	2.400 一部2.100		
	改修後	床版復旧・金ゴテ仕上げの上、t=2.0ビニル床タイル張り 一部下地調整後、t=2.0ビニル床タイル張り	塩ビ製巾木 H=60	既存のまま	既存のまま	-	2.400 一部2.100		
2階	女子便所	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り →モザイクタイル撤去の上、ケレン処理	-	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り →タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.140	150角ビクトサイン(突出型)撤去、人研トイレブース撤去、鏡撤去
		改修後	モルタル塗り(レベリング)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS製巾木 H=60	t=12.5シーリング石膏ボード(GL工法)の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS(下地張用)下地、t=12.5シーリング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.200	トイレブース、妻見鏡(SUS枠)600*1800、SUS製ライニング天板W200、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)、建具木製扉新設、150角ビクトサイン(突出型)新設、200角ビクトサイン(平付型)新設
	男子便所	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り →モザイクタイル撤去の上、ケレン処理	-	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り →タイル撤去の上、ケレン及び目荒し処理	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装 →天井仕上げ及び下地撤去	塩ビ製	2.140	150角ビクトサイン(突出型)撤去、人研トイレブース撤去、鏡撤去
		改修後	モルタル塗り(レベリング)の上、t=2.0長尺塩ビシート(防汚・抗菌)張り	SUS製巾木 H=60	t=12.5シーリング石膏ボード(GL工法)の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LGS(下地張用)下地、t=12.5シーリング石膏ボードの上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り	天井LGS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装	塩ビ製	2.200	トイレブース、妻見鏡(SUS枠)600*1800、SUS製ライニング天板W150-W200、t=6.0汚重陶板、450角アルミ製天井点検口(額縁タイプ)、建具木製扉新設、200角ビクトサイン(突出型)新設
	湯沸室	改修前	コンクリート直仕上下地の上、長尺塩ビシート貼り	塩ビ製巾木 H=60	コンクリート打放しの上、AEP塗装 一部コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り(流し側)	天井LGS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AEP塗装	塩ビ製	2.215	一時移設:流し台・コンロ台(550*1800)
		改修後	既存のまま	-	既存のまま	既存のまま	-	2.215	復旧:流し台・コンロ台(550*1800)



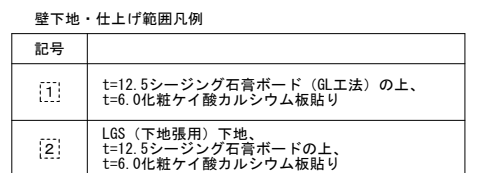
1階天井伏図

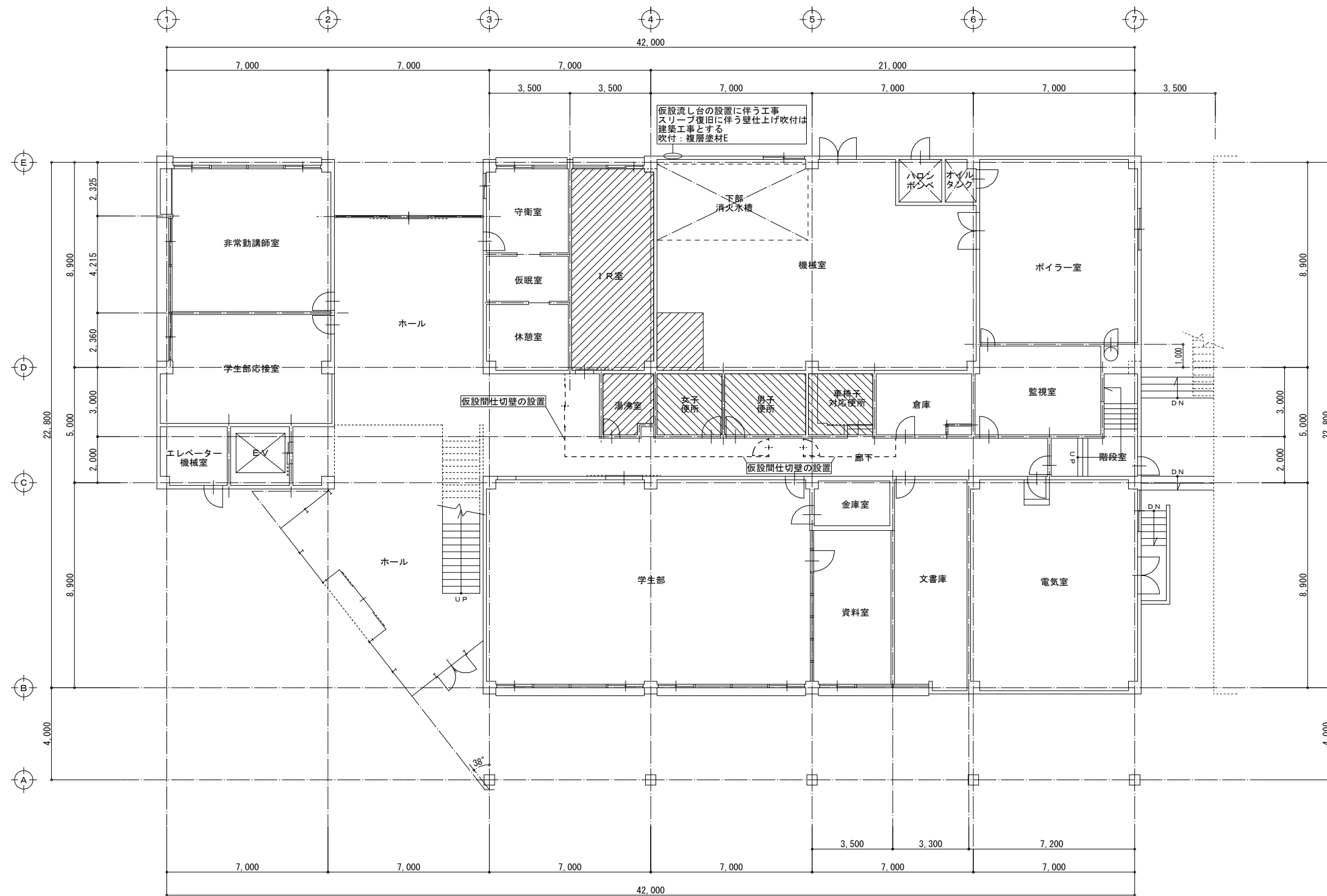


2階天井伏図



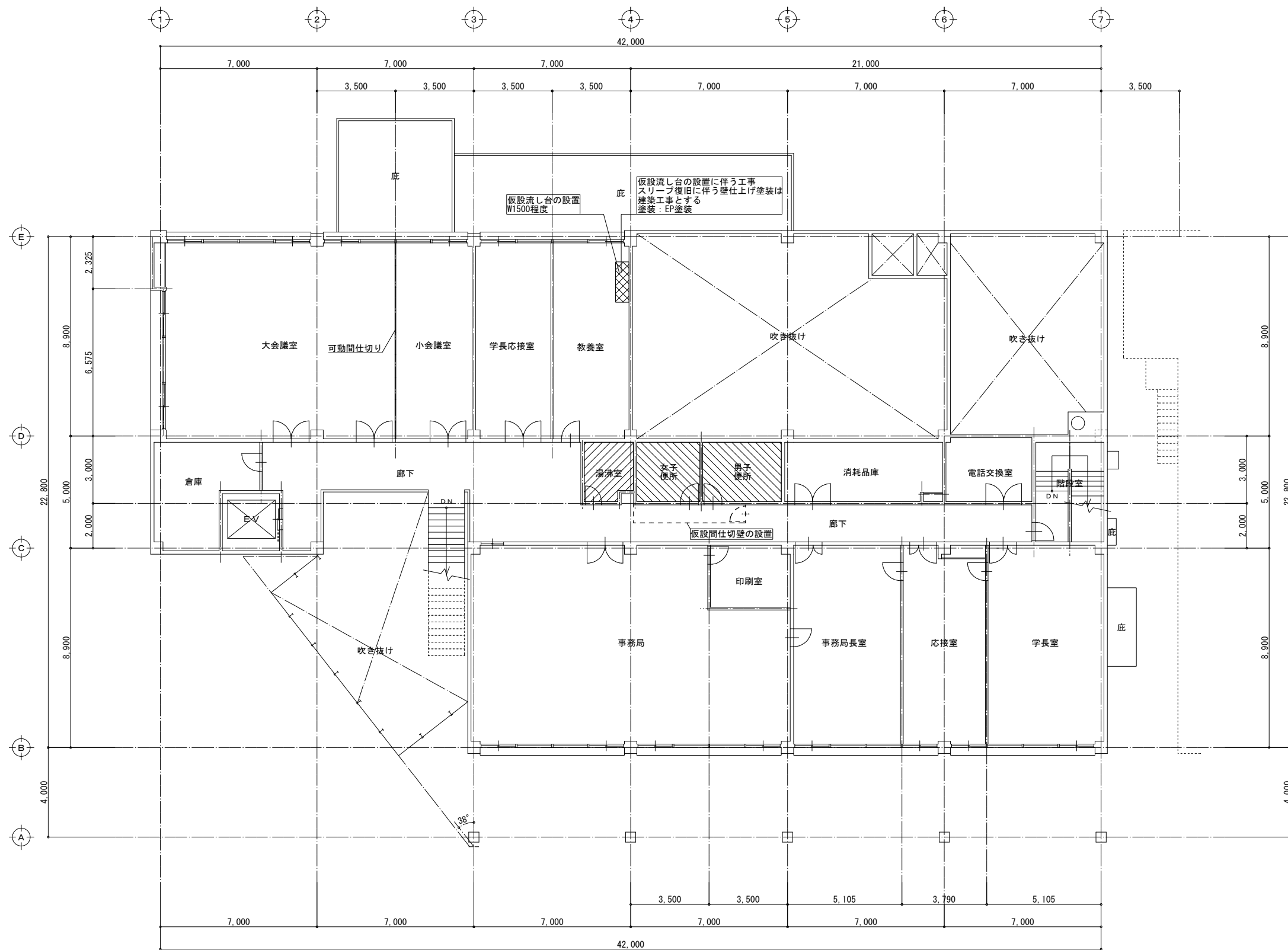
※天井点検口の設置場所は現場指示とする
450角アルミ製(額縁タイプ) 計6か所





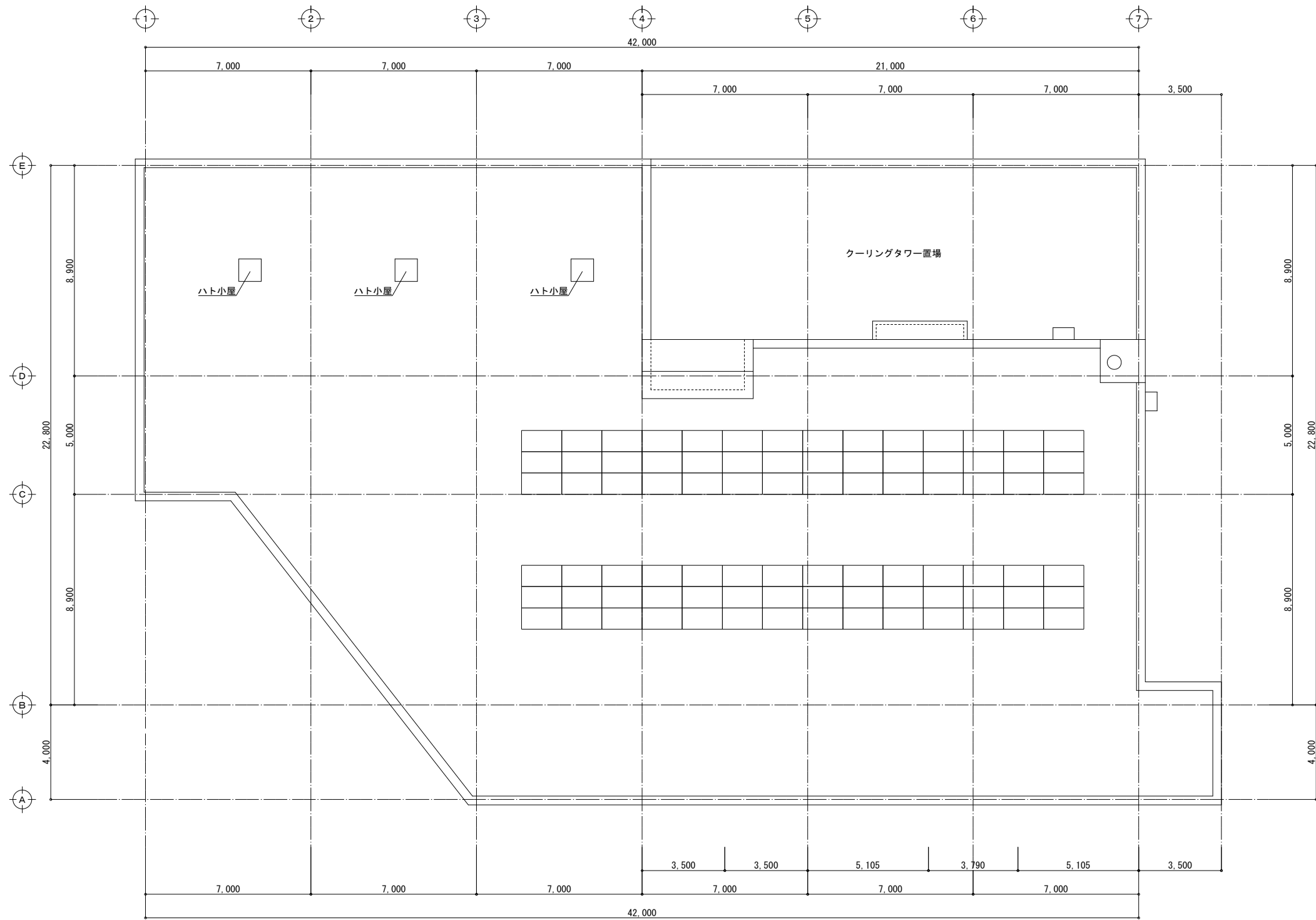
1階平面図

- 凡例
- 改修範囲を示す (トイレ改修)
 - 改修範囲を示す (配管改修)
 - 仮設間仕切壁設置範囲を示す (仕様は、図面番号 A-07 改修特記事項 番号8を確認のこと)



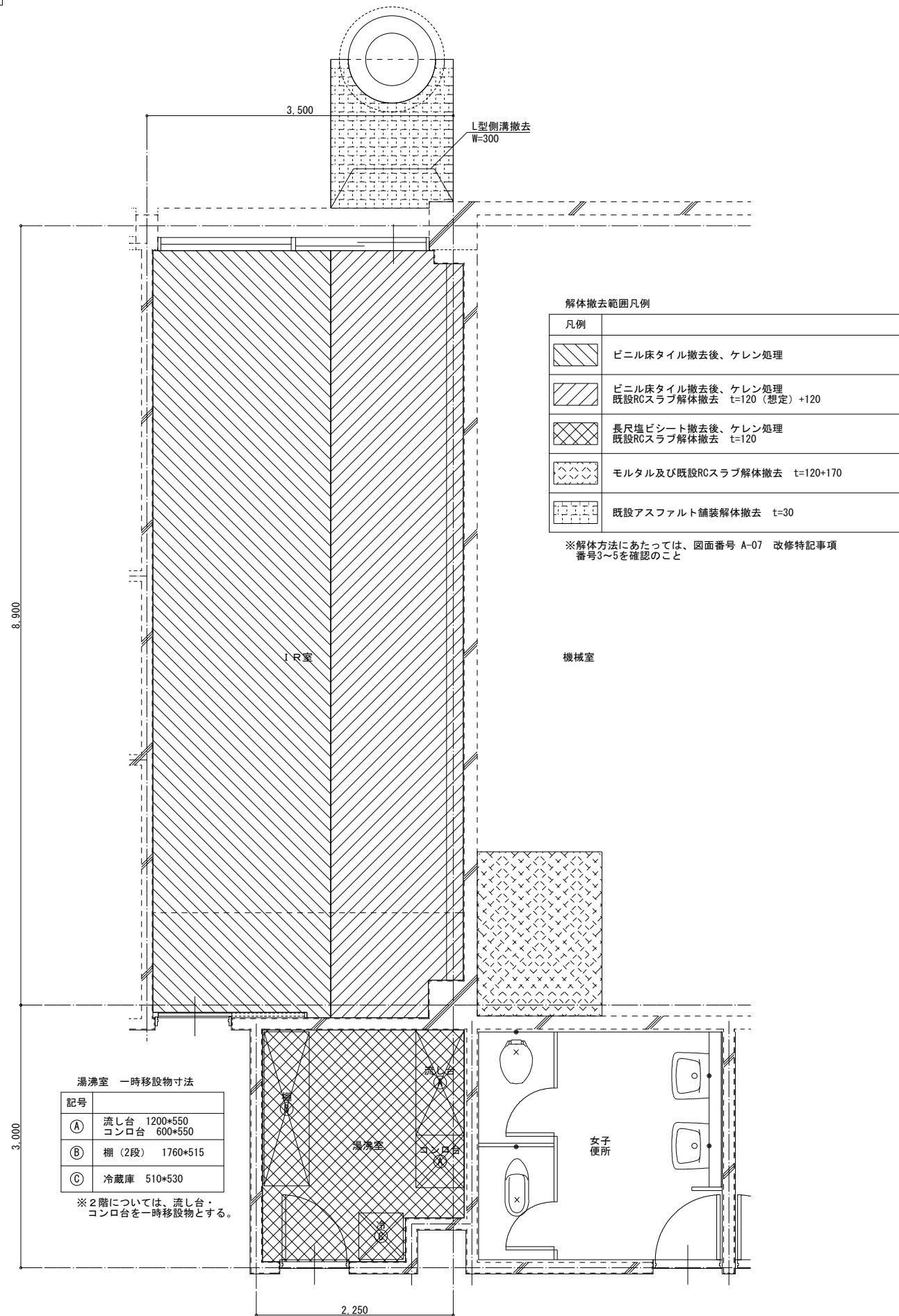
2階平面図

- 凡例
- 改修範囲を示す (トイレ改修)
 - 改修範囲を示す (配管改修)
 - 仮設間仕切壁設置範囲を示す (仕様は、図面番号 A-07 改修特記事項 番号8を確認のこと)

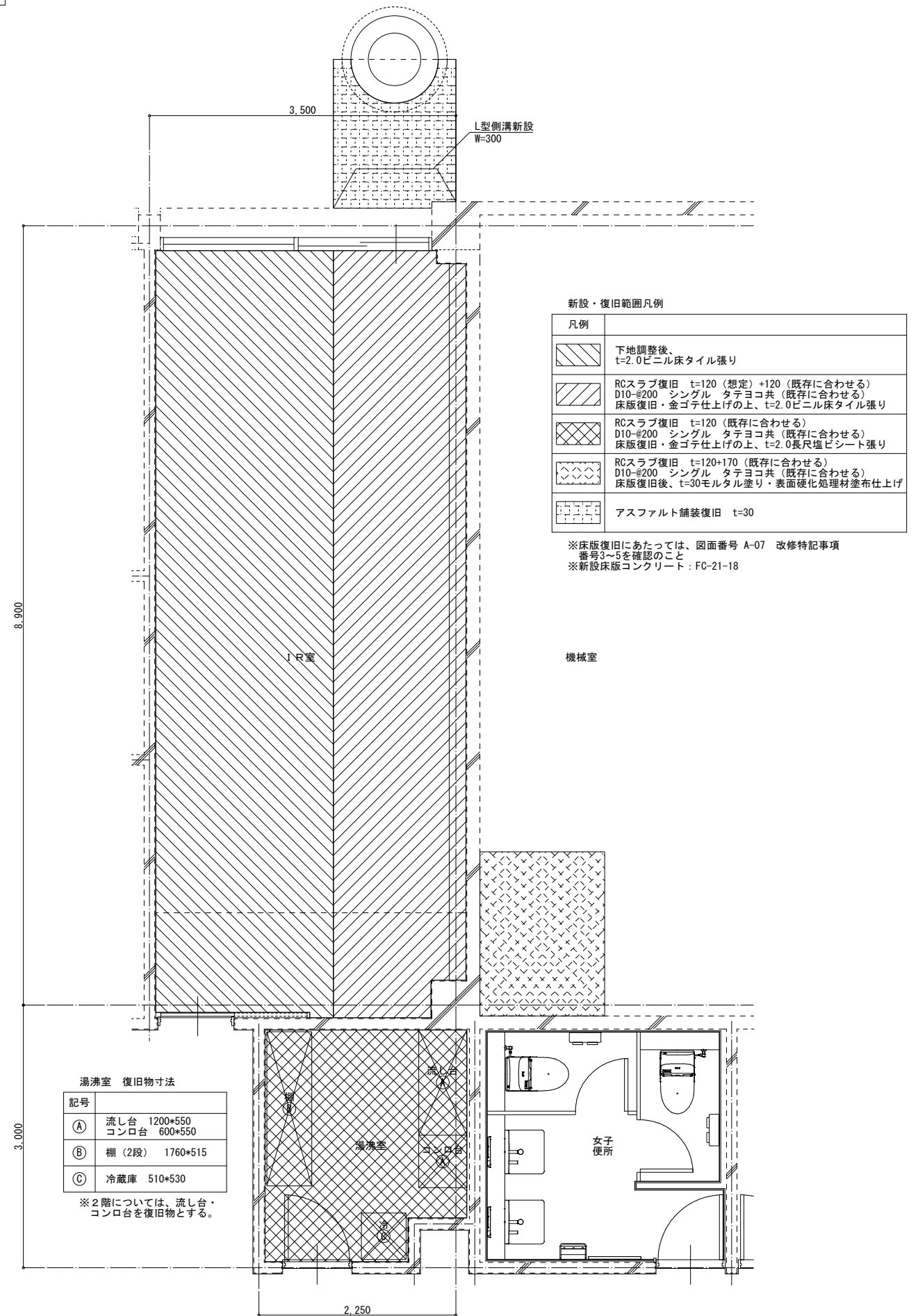


屋根伏図

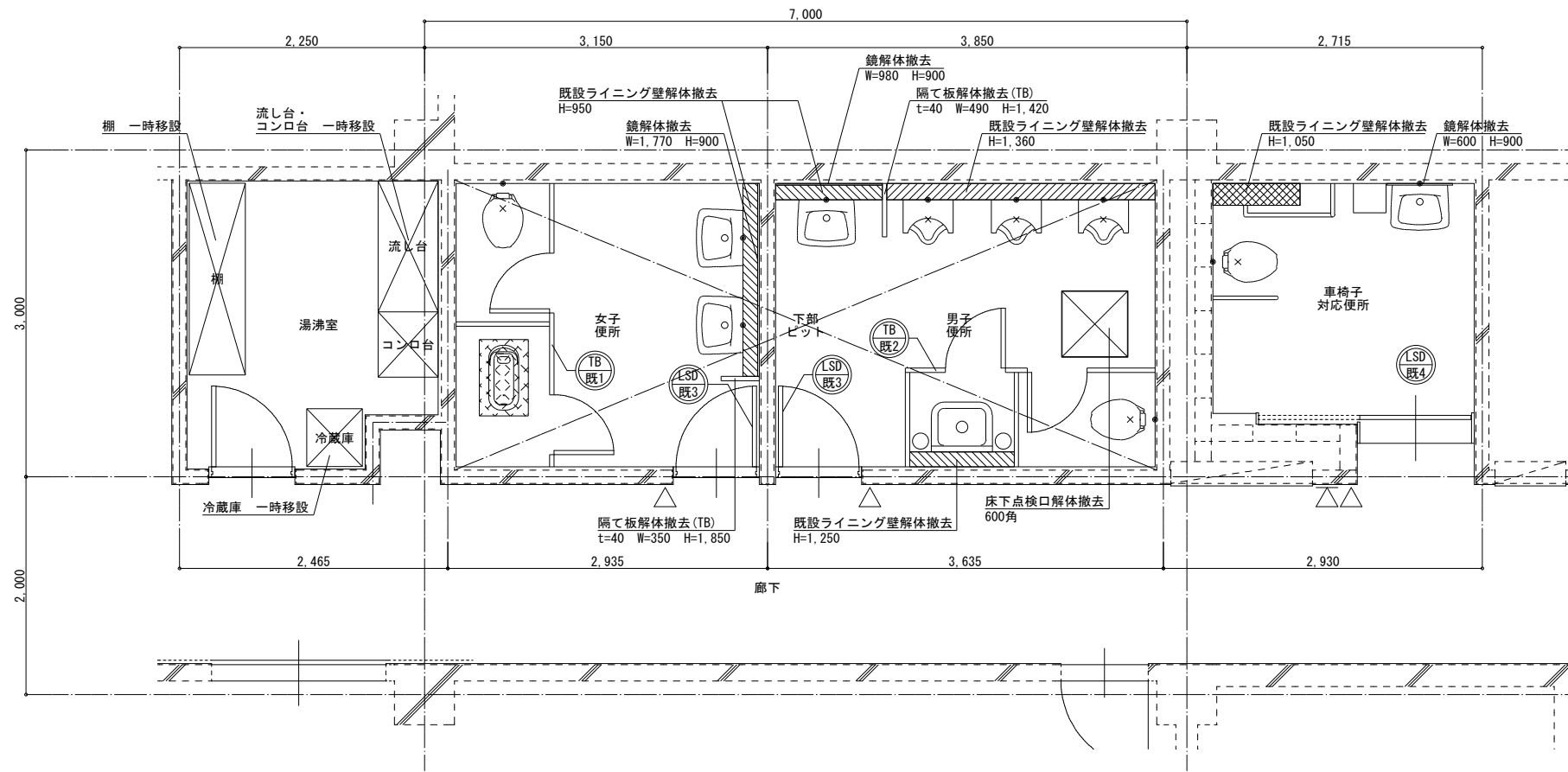
改修前



改修後



改修前



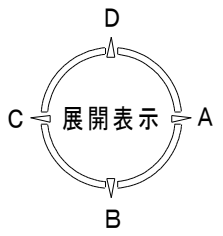
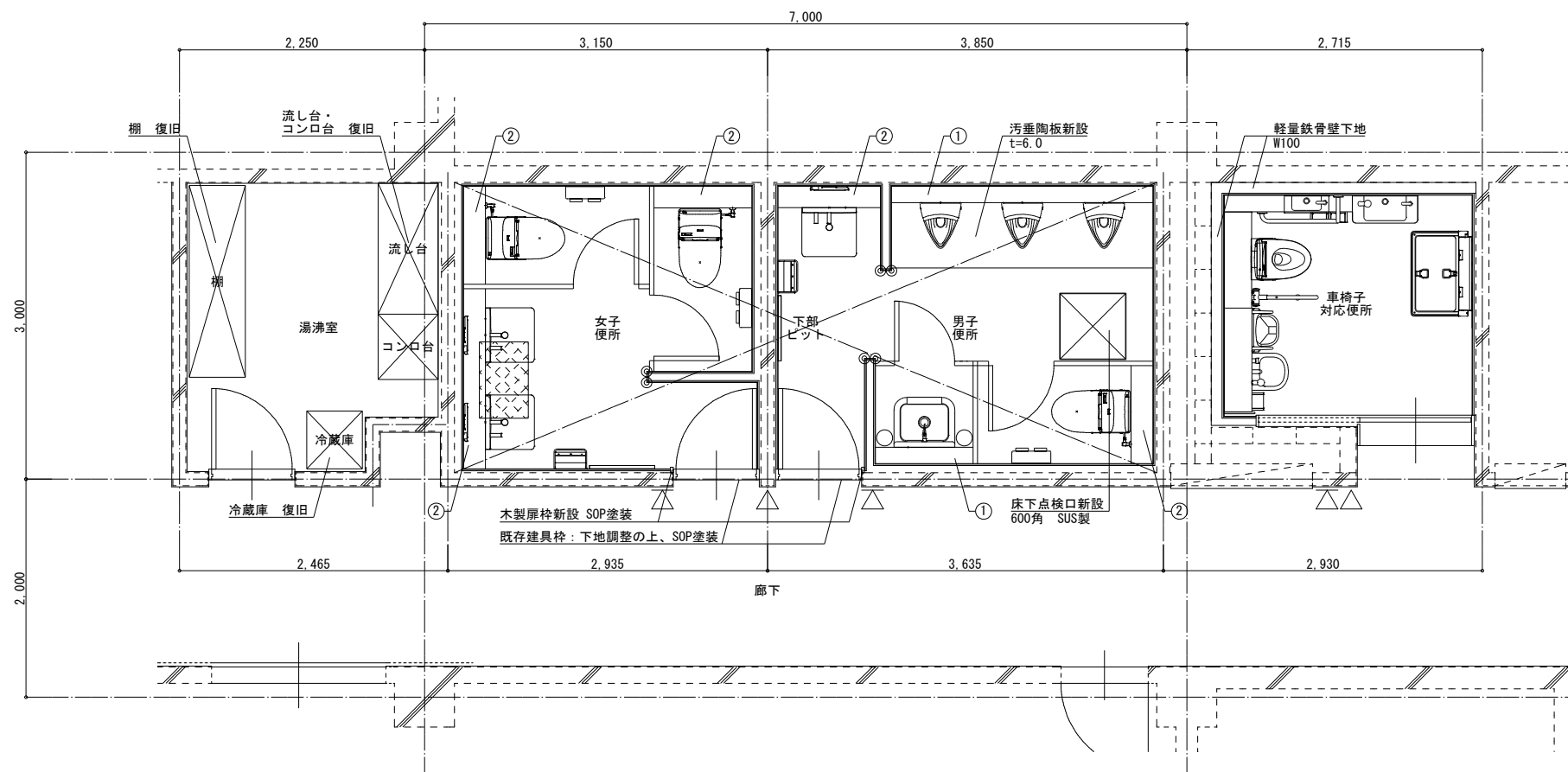
解体撤去範囲凡例

凡例	説明
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (モルタル下地 t=30の上、100角タイル張り) (天板:テラゾーブロック t=25 D=135)
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (モルタル下地 t=30の上、100角タイル張り) (天板:テラゾーブロック t=25 D=150)
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (モルタル下地 t=30の上、100角タイル張り) (天板:テラゾーブロック t=25 D=200)
	既設和便器廻りRCスラブ解体撤去 t=120 (解体方法にあたっては、図面番号 A-07 改修特記事項 番号2を確認のこと)
	ピクトサイン突出型撤去 150×150
	ピクトサイン平付型撤去 200×200

建具解体撤去一覧表

記号	名称	寸法・仕様	個数
	トイレブース	H=1,850 W=3,460 t=40 ブース:テラゾーブロック 扉:ポリエスチル合板	1
	トイレブース	H=1,850 W=4,025 t=40 ブース:テラゾーブロック 扉:ポリエスチル合板	1
	片開きドア	H=1,980 W=740 t=40 建具枠は残し	2
	片引きドア	H=2,050 W=1,030 t=40 建具枠共撤去	1

改修後

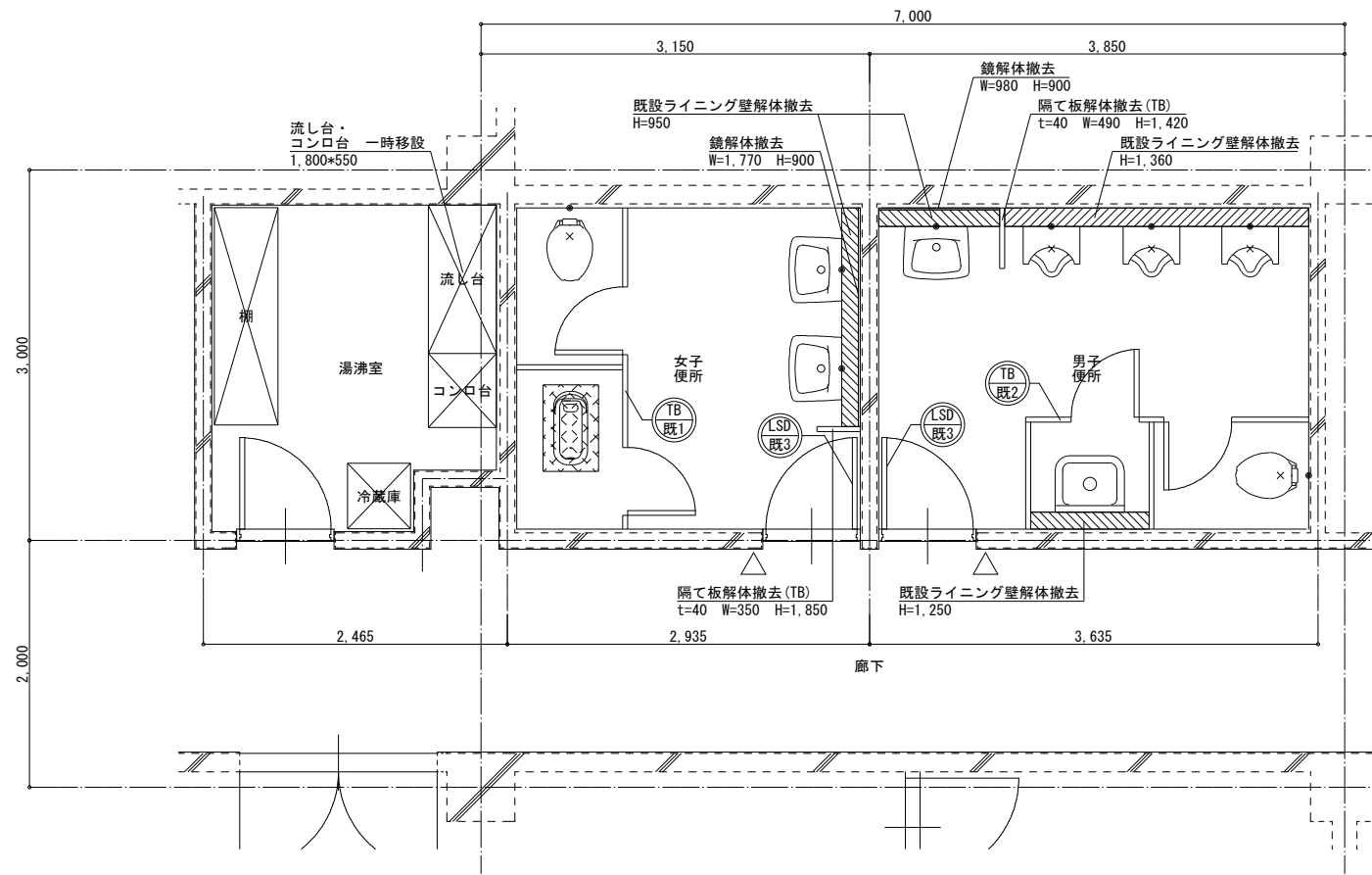


新設・復旧範囲凡例

凡例	説明
	RCスラブ復旧 t=120 (既存に合わせる) 短辺: D10D13-@200 上下共 長辺: D10-@250 上下共 (和便器の開口塞ぎにあたっては、図面番号 A-07 改修特記事項 番号2を確認のこと)
①	ライニング天板新設 W=150 ステンレス製
②	ライニング天板新設 W=200 ステンレス製
⊙	壁 コーナー用アングル アルミ製
	ピクトサイン突出型新設 150×150 ステンレス製
	ピクトサイン平付型新設 200×200 ステンレス製

※新設床版コンクリート: FC-21-18

改修前



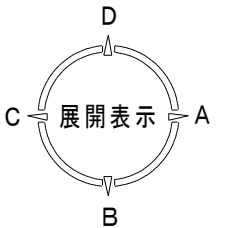
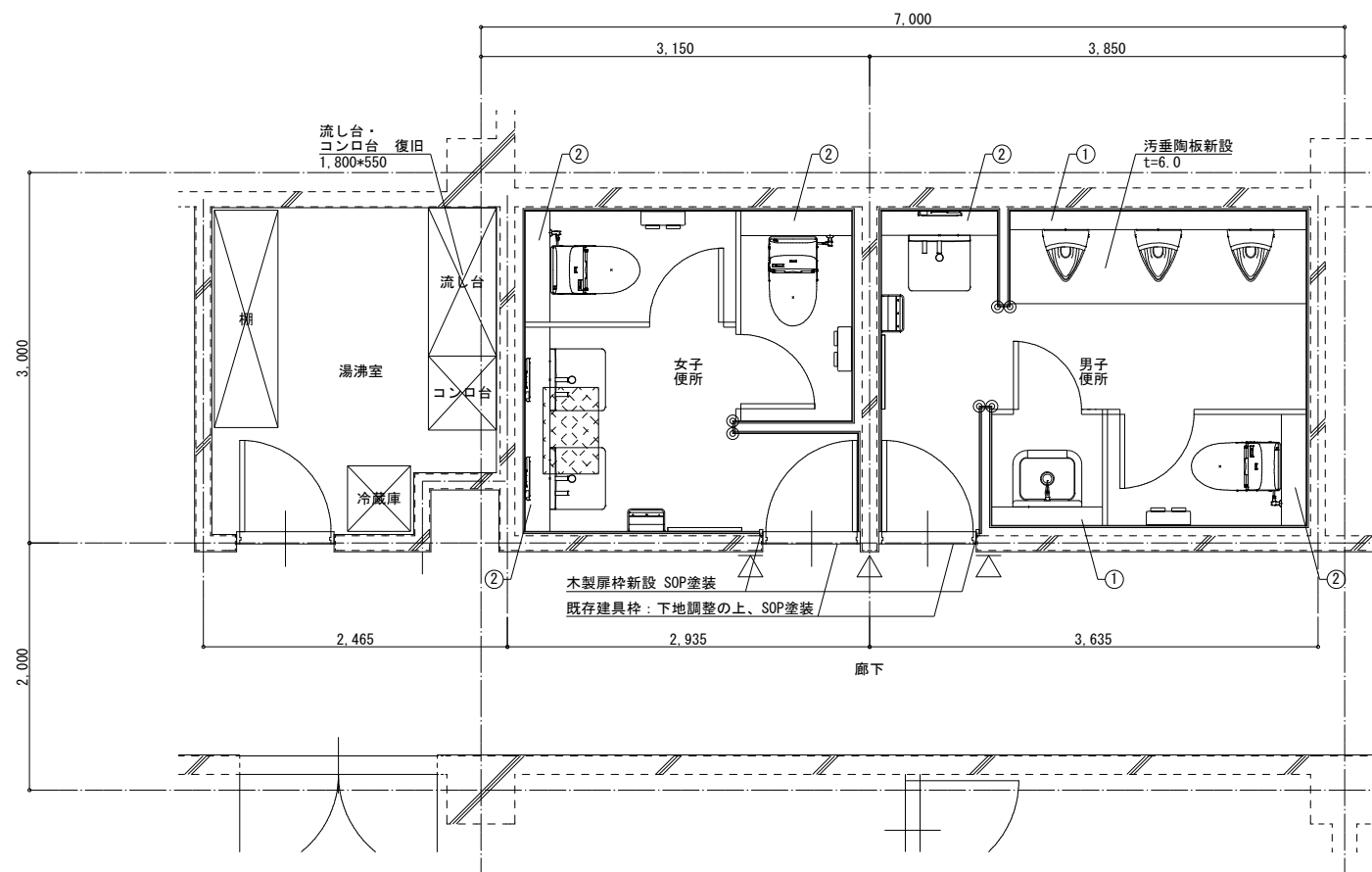
解体撤去範囲凡例

凡例	
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (モルタル下地 t=30の上、100角タイル張り) (天板:テラゾーブロック t=25 D=135)
	既設ライニング壁解体撤去 CB t=100 (モルタル下地 t=30の上、100角タイル張り) (天板:テラゾーブロック t=25 D=150)
	既設和便器廻りRCスラブ解体撤去 t=120 (解体方法にあたっては、図面番号 A-07 改修特記事項 番号2を確認のこと)
	ピクトサイン突出型撤去 150×150

建具解体撤去一覧表

記号	名称	寸法・仕様	個数
	トイレブース	H=1,850 W=3,460 t=40 ブース:テラゾーブロック 扉:ポリエステル合板	1
	トイレブース	H=1,850 W=4,025 t=40 ブース:テラゾーブロック 扉:ポリエステル合板	1
	片開きドア	H=1,980 W=740 t=40 建具枠は残し	2

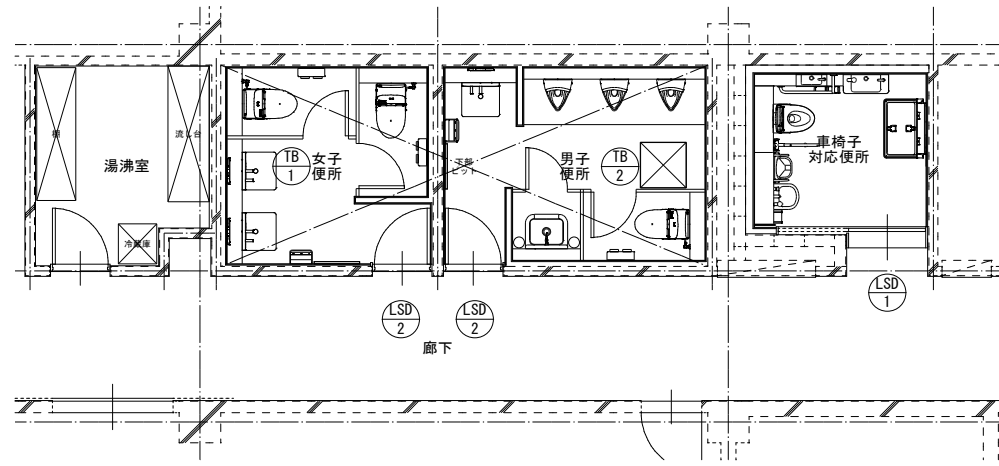
改修後



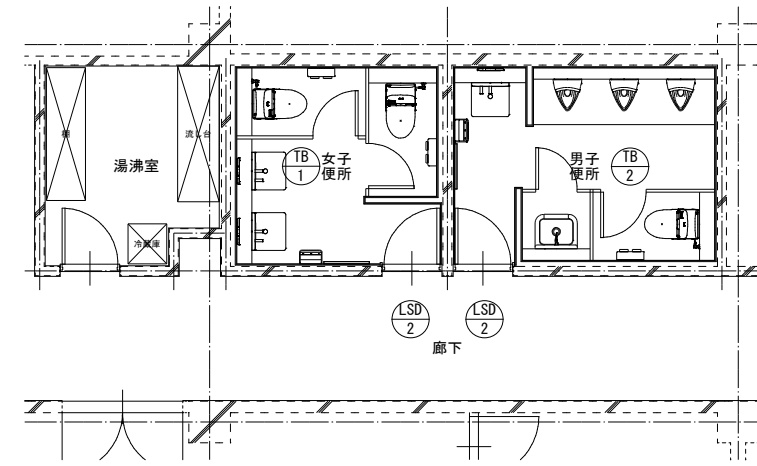
新設・復旧範囲凡例

凡例	
	RCスラブ復旧 t=120 (既存に合わせる) 短辺: D10D13-@200 上下共 長辺: D10-@250 上下共 (和便器の開口塞ぎにあたっては、図面番号 A-07 改修特記事項 番号2を確認のこと)
①	ライニング天板新設 W=150 ステンレス製
②	ライニング天板新設 W=200 ステンレス製
⊙	壁 コーナー用アングル アルミ製
	ピクトサイン突出型新設 150×150 ステンレス製
	ピクトサイン平付型新設 200×200 ステンレス製

※新設床版コンクリート: FC-21-18



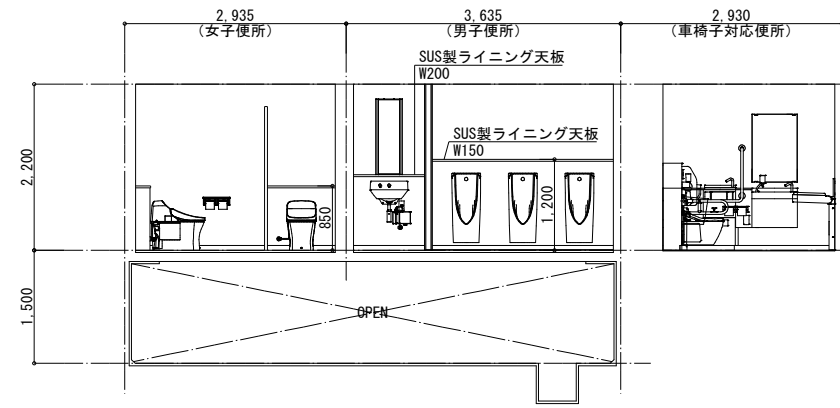
1階平面図



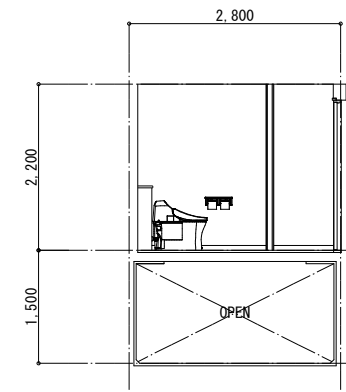
2階平面図

形式	軽量スチール製 片引きハンガー戸	軽量スチール製 片開き戸	トイレブース	トイレブース
室名	1階車椅子対応便所	1階・2階便所	1階・2階女子便所	1階・2階男子便所
図面				
数量	1	4	2	2
仕上げ	焼付塗装	焼付塗装	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
ガラス	t=4.0 強化型板	t=4.0 強化型板	-	-
枠	焼付塗装	既存枠を使用 仕上げは下地調整の上、SOP塗装 丁番取付用フラットバー補強 (既存ピボットヒンジ撤去)	-	-
金物	引き棒、シリンダー錠、ハンガー金物、半自動閉鎖装置(ストップ付)、ガラリ、他標準一式	ドアクローザ、ガラリ、他標準一式	SUS巾木金物、SUS頭つなぎ、ラバトリーヒンジ、表示錠、戸当たりフック、他標準一式	SUS巾木金物、SUS頭つなぎ、ラバトリーヒンジ、表示錠、戸当たりフック、他標準一式
備考	・ガラリの開口率は30%程度とする。 ・戸のサイズについては、製作の際に現状の確認を行うこと。	・ガラリの開口率は30%程度とする。 ・戸のサイズについては、製作の際に現状の確認を行うこと。	扉は常時開放状態とする	扉は掃除流し部分除き、常時開放状態とする

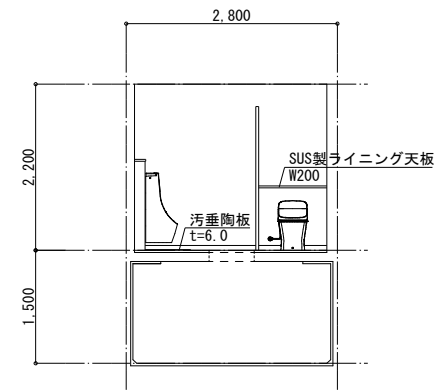
1階 女子便所、男子便所、車椅子対応便所 CH=2,200		
床	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、ケレン処理 → 床版全面撤去（周囲鉄筋残し）（車椅子対応便所）
	改修後	モルタル塗り（レベリング）の上、t=2.0長尺塩ビシート（防汚・抗菌）張り 床版復旧・金ゴ子仕上げの上、t=2.0長尺塩ビシート（防汚・抗菌）張り（車椅子対応便所）
幅木	改修前	—
	改修後	SUS製竹木 H=60
壁	改修前	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン及び目貫し処理
	改修後	t=12.5シーリング石膏ボード（&工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LS（下地専用）下地、t=12.5シーリング石膏ボード（&工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り
天井	改修前	天井LS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AP塗装 → 天井仕上及び下地撤去
	改修後	天井LS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装



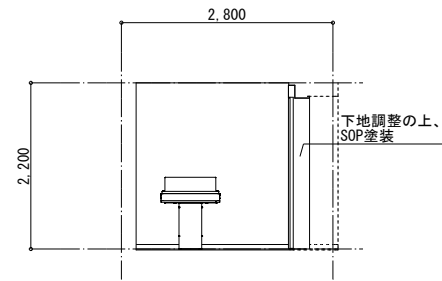
A 面



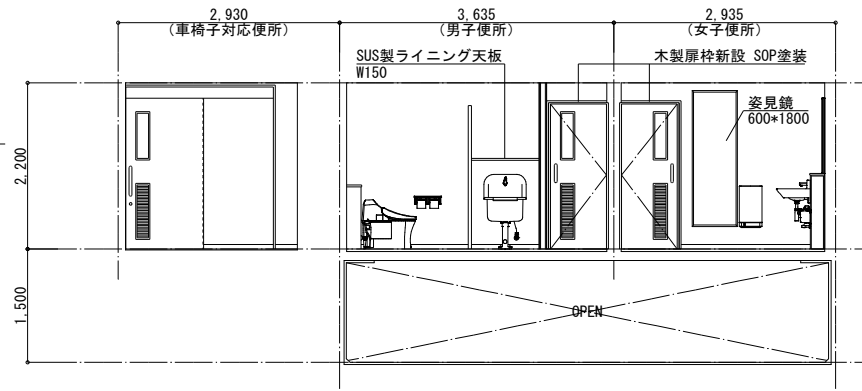
女子便所 B 面



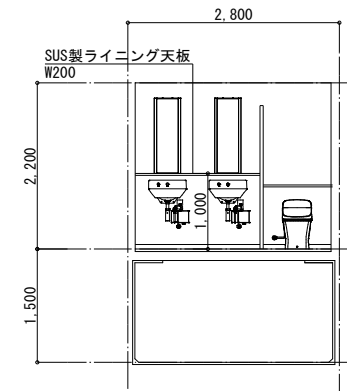
男子便所 B 面



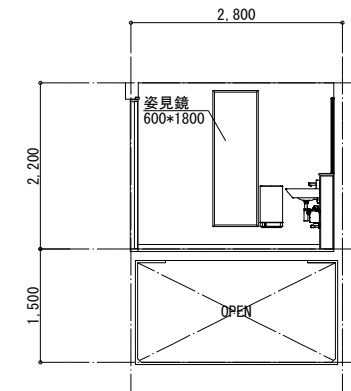
車椅子対応便所 B 面



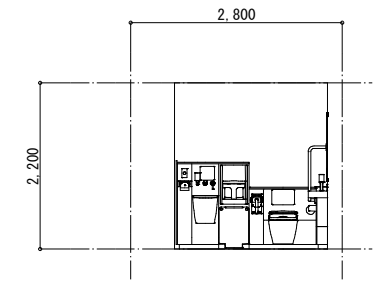
C 面



女子便所 D 面

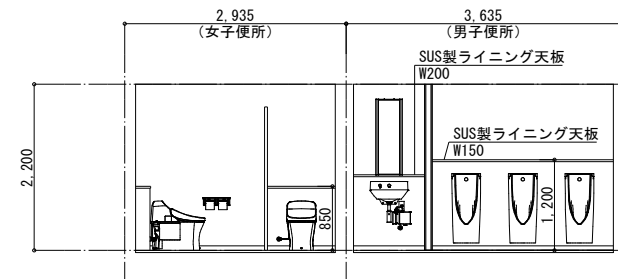


男子便所 D 面

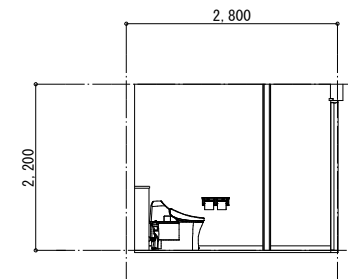


車椅子対応便所 D 面

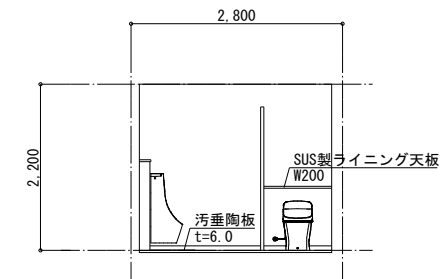
2階 女子便所、男子便所 CH=2,200		
床	改修前	モルタルの上、25角磁器質モザイクタイル貼り → モザイクタイル撤去の上、ケレン処理
	改修後	モルタル塗り（レベリング）の上、t=2.0長尺塩ビシート（防汚・抗菌）張り
幅木	改修前	—
	改修後	SUS製竹木 H=60
壁	改修前	コンクリートの上、100角陶器質タイル貼り → タイル撤去の上、ケレン及び目貫し処理
	改修後	t=12.5シーリング石膏ボード（&工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り 一部LS（下地専用）下地、t=12.5シーリング石膏ボード（&工法）の上、t=6.0化粧ケイ酸カルシウム板貼り
天井	改修前	天井LS下地、t=6.0軟質石膏ボードの上、AP塗装 → 天井仕上及び下地撤去
	改修後	天井LS下地、t=6.0ケイ酸カルシウム板目透かし張りの上、EP塗装



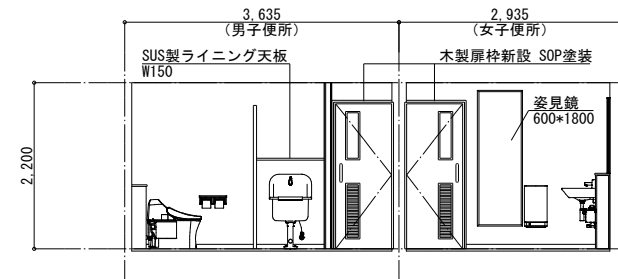
A 面



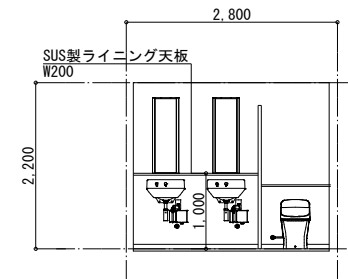
女子便所 B 面



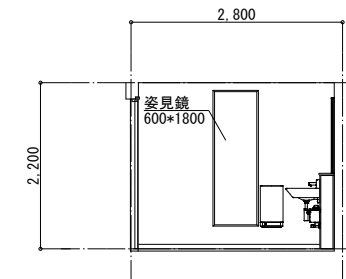
男子便所 B 面



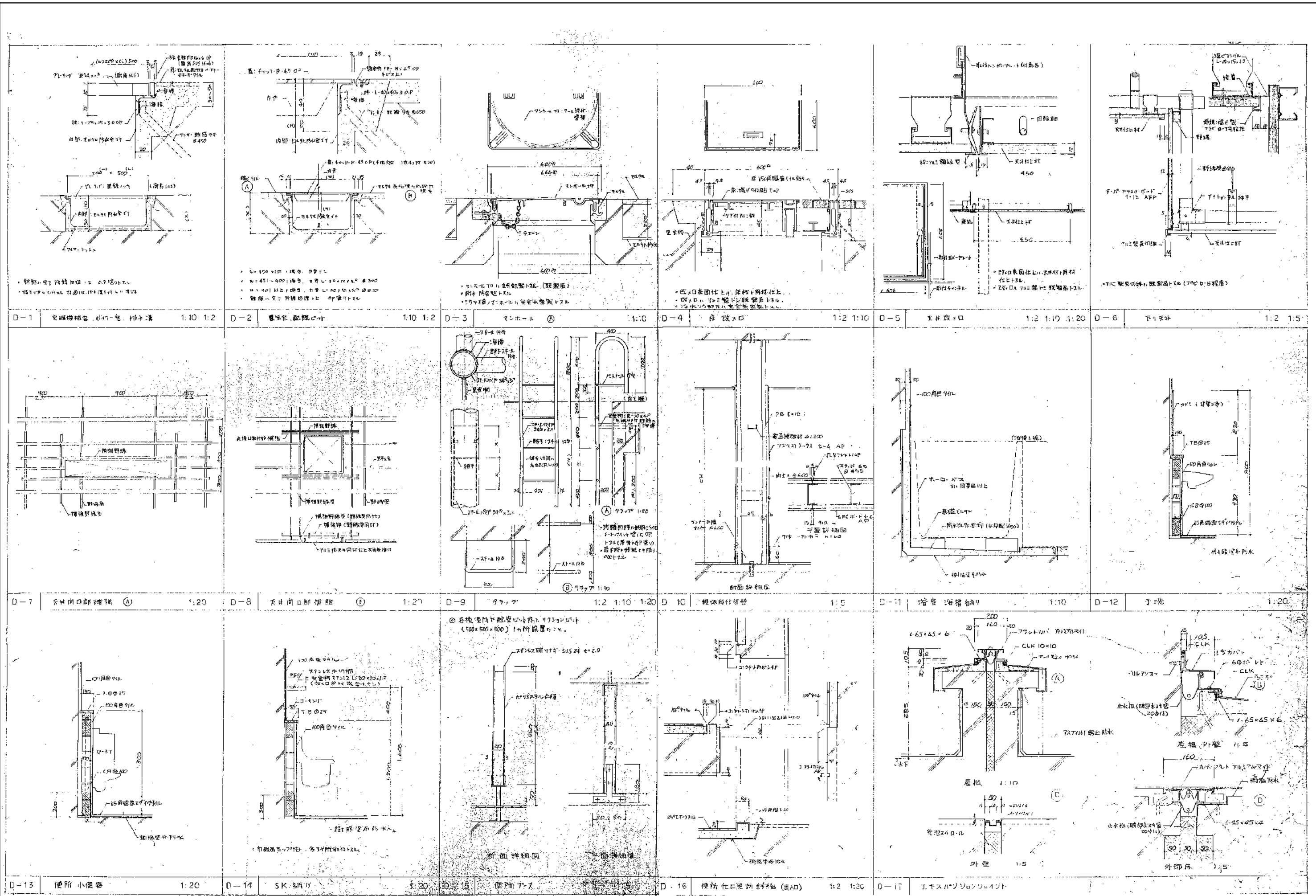
C 面



女子便所 D 面



男子便所 D 面

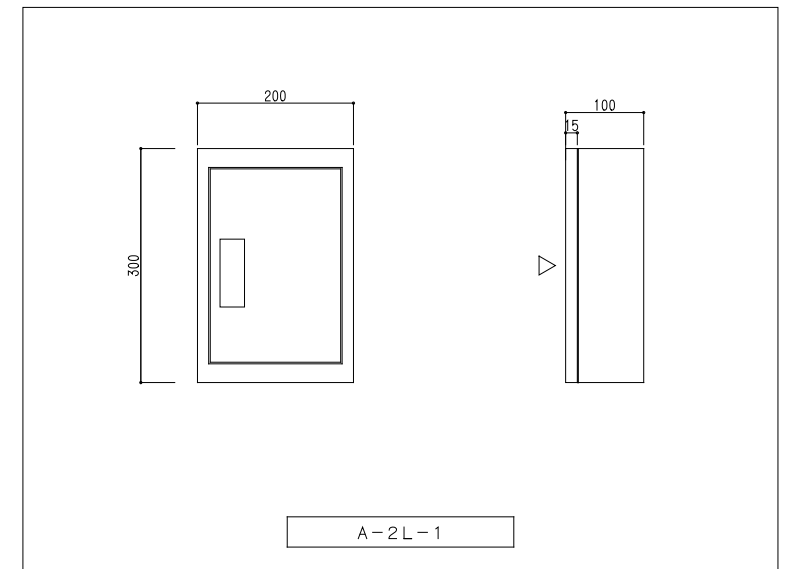
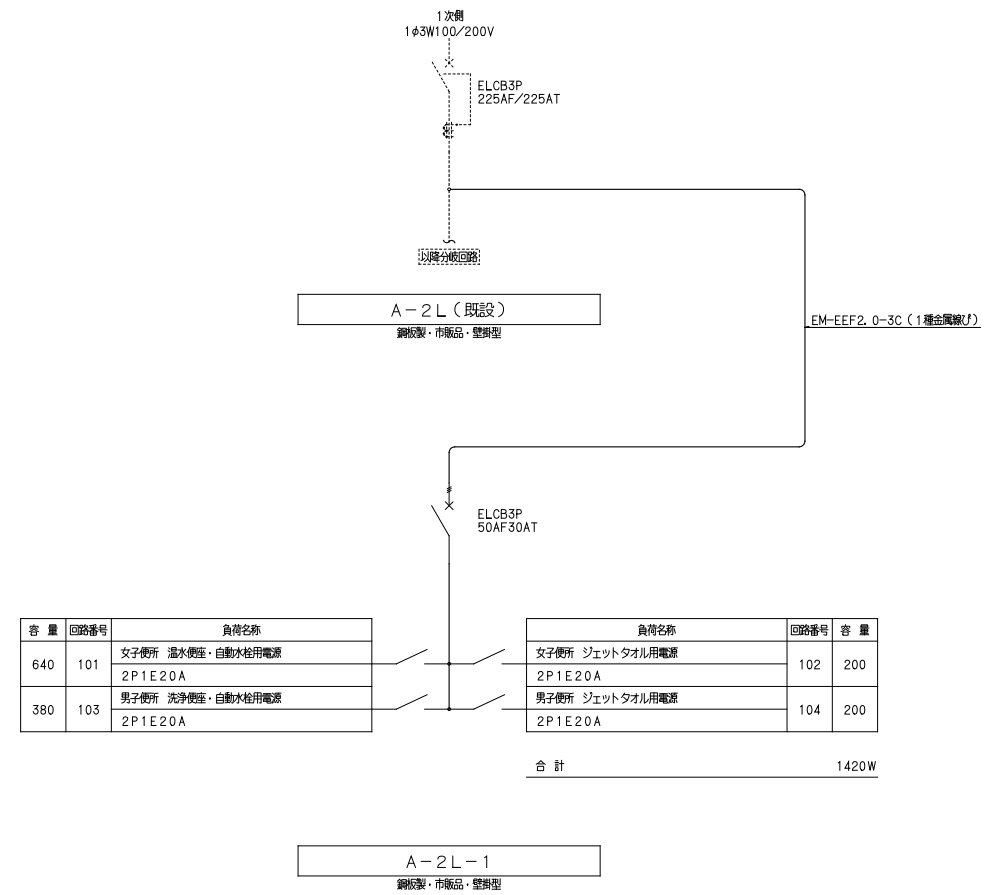
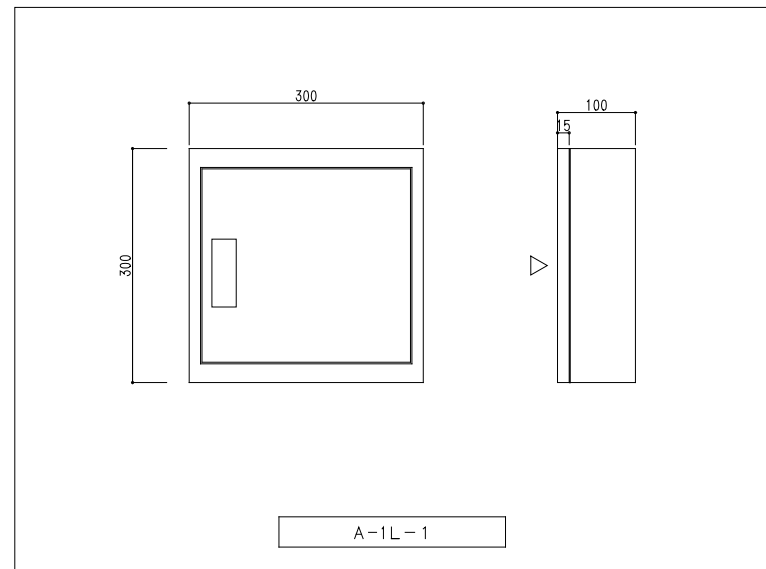
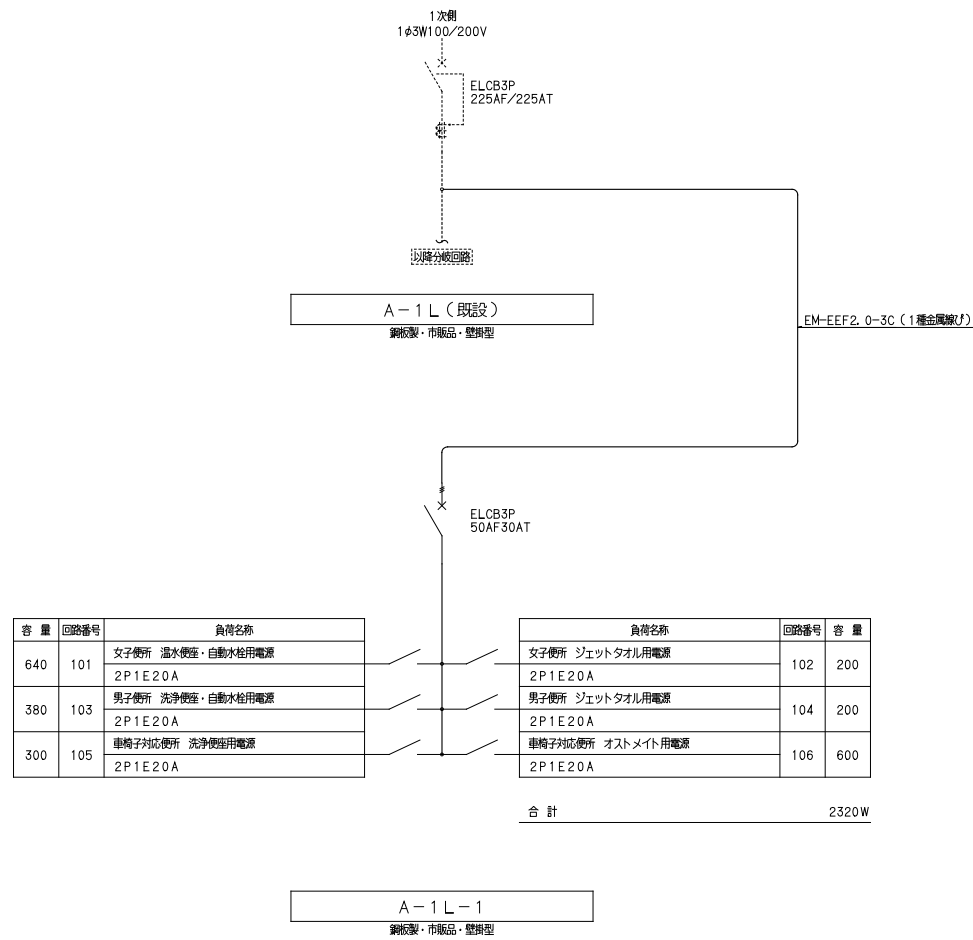


工事名称	熊本県立大学本部棟トイレ改修工事	図面名称	詳細図 (既存参考図)	縮尺	—	株式会社	太宏設計事務所	一般建築士登録大臣登録第133907福岡正雄 熊本県知事登録第555号	校 開	日 付	番 号	A-16
------	------------------	------	-------------	----	---	------	---------	--	--------	--------	--------	------

章	項目	特記事項	16 幹線ケーブル	17 表示等	18 接地工事	19 照明器具の接地	20 避雷器	21 LED制御装置	22 外灯設備	23 照度測定	24 キュービクル型受変電設備	25 通信・情報設備	26 インターホン設備	27 音響設備	28 テレビ共同受信設備	29 電気時計設備	30 消火ポンプ起動	31 壁貫通	32 あと施工アンカー	33 改修工事	34 発生材の処理等	
4 特 記 事 項	1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする。	主要な幹線ケーブルは、プルボックス、ハンドホール等内で、円直し等により余長を確保すること なお、この際はケーブルを緊縛してはならない	(1) プレートの表示 器具を実装しないものについては、下記の要領で用途を明示すること (電灯、動力、電話、放送、TV、火報、ヘル、インターホン、表示、時計、防犯、監視、LAN、呼出等)	(1) 接地埋設は貫通板製の刻印式とし、A種接地工事(往上高圧機器を除く)、受電設備等のB種接地工事、その他図面に特記する接地工事に設けること	LED照明器具の金属製部分には、D種接地工事を施すこと ただし、二重絶縁構造のもの、使用電圧が直流30V以下又は対地電圧が交流150V以下のLED照明器具を乾燥した場所に施設する場合は、接地工事を省略することができる 接地線は原則として緑色のIE 1.6mm以上とし金属配管の場合は配管を利用してよい	・低圧用SPDの性能は(・クラスI(性能は図示による)・クラスII)とする ・通信用SPDの性能は(・C2・D1(性能は図示による)・図示による)とする	図面に特記なき場合は、一般形(LN)、初期漏電補正形(LJ)、連続漏電形(LX)とする	(1) 融断面鉛めっき鋼管ポールは、エッチングプライマー処理の後、指定色2回塗りとする (2) ポール内等に配線用遮断器(引外し装置無)又はカットアウトスイッチ(兼通ヒューズ)を設けること	測定箇所 ・ 学校環境衛生基準による、 ○ 監督員の指示による、	(1) 変圧器の2次側には最大需要電流計(電子式)を設けること (2) 変圧器の2次側と配線用遮断器の1次側間は網帯とする (3) 幹線と配線用遮断器を接続するための端子台を設けること (4) 充電部の保護用として、取っ手を付けたアクリルパネルを撤間なく設けること (5) 変圧器は原則として、熊本県グリーン購入推進方針適合品とする (6) 高圧充電部の近くには高圧危険表示をすること (7) 変圧器の仕様は(・標準仕様・標準準仕様)とする (8) 変圧器は防振ゴム付きとする (9) 屋内設置の外面膜厚は、(・30μm以上・40μm以上・90μm以上)とする 屋外設置の外面膜厚は、(・60μm以上・90μm以上・120μm以上)とする	ケーブルは監督員の指定する色を用い、露出部分(端未接続部分を除く)を保護すること UTPケーブルを除き、配線完了後、絶縁抵抗試験を行うこと UTPケーブルは、配線完了後、フロア配線盤から通信アクトレットの区間で、伝送品質測定を行うこと 光ファイバケーブルは、配線完了後、伝送損失測定を行い、システムを構成する機器の許容伝送損失値以下であること	卓上型機器への接続は、原則としてコネクターによる。 また、ケーブルはインターホン用絶縁耐燃性が「エチレン/ビニル」スケールを用いること	音響装置は動作試験の他に次の測定を行うこと ・インピーダンス ・ 残響時間 ・ 伝送周波数特性 ・ 音圧分布	(1) アンテナは図面に特記なき場合は、UHFアンテナで全帯域用(素子数 20以上)とする (2) 増幅器は図面に特記なき場合は、UHF帯とする (3) 建築躯体工事完了後、地上放送周波数の電界強度測定を行い、監督員に報告すること	時計の配線接続には2種コネクターを用いること	特記なき場合は、発信機連動方式とする。 その場合、発信機表面に「消火栓連動」等の文字を併記すること	構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。 ・ レントゲン撮影 ○ 金属探知機	○あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ○施工者資格 (・ 第1種あと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士) ※試験 ※自主検査(全数) ・ 加力検査 (・ 非破壊試験 箇所 ・ 破壊試験 箇所)	改修工事にあたっては、工事範囲における次の確認・測定等を着工前に、監督員に報告すること ○ 既設機器の動作確認 ○ 照度測定 範囲 (※居室 ※教室 ※指定する場所 ()) ○ 絶縁測定 (・ 幹線 ○ 分岐回路 ・ 弱電ケーブル) ○ 接地抵抗測定 ・ 導通試験	・水銀含有物(蛍光管、水銀ランプ)の処理は次のとおり行うこと。 (1) 破砕施設にて破砕し、破砕したガラス、ガラスに散布された蛍光塗料、蛍光管等に封入された水銀 その他資源化可能なものを分離し、回収することができる設備を有する廃棄物処理業者と契約すること。 (2) 工事請負者は廃棄物処理業者との処理委託契約書の写しを果に提出すること。 (3) 廃棄物処理業者は回収した資源化可能なものは、可能な限りリサイクルするものとする。 (4) 蛍光管等を破砕する際には、封入されたガス状水銀及び金属水銀が環境中に飛散しないよう、 破砕施設に吸引装置を設けガス状水銀等を吸引すること。また、吸引したガス状水銀等は活性炭等に 吸着させ環境中に放出しないようにすること。なお、この方法に不十分な場合は、この方法と同等または 同等以上の方法で処理を行うこと。 (5) 再資源化に関しては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年12月25日法律第137号)」及び 関係法令を遵守すること。 (6) 廃蛍光管等の保管・収集運搬用容器については、保管及び運搬中に蛍光管が割れガス状水銀等が環境中に 飛散しないよう適切なものを使用すること。	
	2 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による。																				
	3 関連法規等	電気設備技術基準、同基準解釈、その他の関係法規及び電力会社、電気通信事業者(NTT等)の内規を厳守して完全に施工すること。																				
	4 容量などの表示	(1) 機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の電力とする																				
	5 耐震施工	(1) 機器設備の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人 建築研究所監修 2014年版)」による ① 設計用水平地震力 機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、下表による。 ※地価係数 Z=1.0 としている 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度 (Kg) ※該当する施設に○をつけること 耐震安全の分類 設置場所 ・ 特定の施設(耐震クラスS) ○ 一般の施設(耐震クラスA) 機器類 電気配線(金具管等) ケーブルラック 発電設備配管等 機器類 電気配線(金具管等) ケーブルラック 発電設備配管等 上層階、屋上及び塔屋 2.0 12m以内ごとに5層耐震支持 6m以内ごとにA種耐震支持 Sa種耐震支持 1.5 12m以内ごとにA種耐震支持 8m以内ごとにA種又はB種耐震支持 A種耐震支持 中間階 1.5 12m以内ごとにA種耐震支持 8m以内ごとにA種耐震支持 Sa種耐震支持 1.0 12m以内ごとにA種又はB種耐震支持 8m以内ごとにA種又はB種耐震支持 A種耐震支持 1階及び地下階 1.0 12m以内ごとにA種耐震支持 8m以内ごとにA種耐震支持 A種耐震支持 0.6 12m以内ごとにA種又はB種耐震支持 12m以内ごとにA種又はB種耐震支持 A種又はB種耐震支持 ※上層階の定義は次による 建築物階数 上層階 建築物階数 上層階 2~6階建 最上階 10~12階建 上層3階 7~9階建 上層2階 13階建 上層4階 ② 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする ③ 軽量機器等の耐震施工 重量1kN以下の軽量な機器の耐震支持については、本指針に準拠あるいは同等な設計用地震力に耐える方法で設計・施工されることを推奨する。ただし、耐震支持の詳細は、軽量であることと考慮し、支持される上面スラブ、壁、床など)が地震によって生じる力に十分耐えるように検討されている必要がある	接 地 極 の 材 料 接 地 極 の 種 類 記 号 鋼 板 接 地 線 共同 E _{A,B,D} 1枚 2本 A種接地工事 E _A 2本 柱上高圧機器 E _B 2本 B種接地工事 E _{Bb} 2本 C種接地工事 E _C 6本 D種接地工事 E _D 1本 構内交換機用 E _T 1枚 2本 直置電線装置(揚機) E _{tr} 1枚 2本 保安用(10Ω以下) E _{At} 6本 保安用(100Ω以下) E _{Al} 1本 拡音増幅器(100Ω以下) E _{Pr} 1本 避雷設備 E _L 1枚 2本 低圧避雷器(10Ω以下) E _{Ll} 6本 他 測定補助用 E _O 1本 接地極鋼板 : 1.5t×900* 接地棒 : 14φ×1,500L(一般用) : 10φ×1,000L(外灯) : 10φ×1,000L(測定補助用) 2ヶ所																			
	6 配管工事	(1) 特記なき電線管はねじなし電線管を使用し、PF管は一重管とする。 (2) 一区間の恒長が30mを超える場合及び施工に必要な場合は、特に図示してなくとも中継ボックスを設けること (3) 予備配管には、1.6m/m以上のビニール被覆鉄線を入れること																				
	7 構内及び構外舗装	構内では、路盤材料は再生クワッシュランを用い、アスファルト舗装は再生密粒度アスファルト混合物を利用すること 構外では、 ・表層路盤(※再生アスファルト・新70%再30%・再100%) ・基層路盤(※再生アスファルト・新70%再30%・再100%) ・上層路盤(※再生粒質砕石・再生クワッシュラン) ・下層路盤(※再生粒質砕石・再生クワッシュラン)を利用すること																				
	8 埋設テープ	全ての地中埋設配管にはGL-300の位置にビニル製埋設テープ(ダブル)を敷設し、高圧、低圧及び弱電等の種別及び先行を表示すること																				
	9 屋外の支持金物等	(1) 屋外の支持金物、ボルト及びナット類は、溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZ35以上)又はステンレス製とする (2) ナットの腐食には、ダブルナット又は抜け止め対策を行う																				
	10 配管塗装	(1) 指定箇所の露出配管、露出ボックス類の塗装は、エッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて、OP2回塗りとする (2) 指定場所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする (3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること (4) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛めっき仕上げではJIS H 8641で規定するHDZ35以上とする (5) 仮付貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと																				
	11 環境に配慮した電線架設	特記なき場合は電線及びケーブルについて、EM(エマテリアル)ケーブルを使用すること 対応する記号及び規格名称 従来記号 IE 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (IV) IC 600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線 VVR EE 600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル VVF EEF 600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(扁平) CV CE 600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル CVV CEE 制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル CCV CCE 制御用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル CV-T CE-T トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル TKEV TKEE 耐燃性ポリエチレンシース通信用構内ケーブル TTVF TIEF 耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用扁平通信電線 EBT EM-EBT 電子ボックステルケーブル AE EM-AE 警報用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル HP NH-HP 小勢力回路用耐燃電線 CPEV CPPE 市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル FCPEV FCPEE 着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル																				
	12 配分電盤及び操作盤	(1) 配分電盤及び操作盤(以下、盤という)は、監督員の指定する色(既製品を除く)にて焼付け塗装すること (2) 電灯分電盤については中枠及び開戸式内扉を設けるものとし、盤内配線の主幹と分岐開閉器間は網帯とする (3) 盤には、二重天井の場合、監督員の指示する大きさの予備配管を2本以上天井内まで立上げ、エンドカバー又はブッシングを設けること (4) 銘板には製造者及び請負者の連絡先を入れること (5) 積算電力量計について、特記なき場合は検定付とする (6) ドア裏面の充電部が露出する部分は原則感電防止の処置を施すこと (7) 屋内設置の外面膜厚は、(・30μm以上・40μm以上・90μm以上)とする 屋外設置の外面膜厚は、(・60μm以上・90μm以上・120μm以上)とする																				
	13 端子盤及び保安器箱	塗装及び予備配管は、「特記事項12の配分電盤及び操作盤」と同様とする																				
	14 ボックス等	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、金属製とする																				
	15 記録器具等	(1) フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする (2) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付きとする (3) 特記なきスイッチはワイドスイッチとする																				
熊 本 県 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公立大学法人 熊本県立大学		建築士事務所名 一般 建築士事務所 熊本県 知事登録 555 号		工 事 名 称 熊本県立大学本部棟1-1改修工事		設 計 者 氏 名 一般 建築士 建設大臣 登録第 133907 号		図 面 名 称 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		図面番号 E-01		印刷 福島 正雄								

機器の取付高さ			
機器取付高さは下表を原則とする(ただし、総括監督員、主任監督員の指示により変更することがある)			
名 称	測 点	取 付 高 (mm)	
取引用計器	地上 ~ 中心	約 1,800	~ 約 2,000
引込開閉器	床上 ~ 中心	約 1,800	~ 約 2,200
分電盤	床上 ~ 中心	約 1,500	~ 約 2,100
ブラケット	洗面器	鏡上	約 100
	階段踊場	床上 ~ 中心	約 2,000 ~ 約 2,500
	屋外	床上 ~ 中心	約 1,500
スイッチ	一般	床上 ~ 中心	~ 約 1,100
	住宅	床上 ~ 中心	約 1,100
コンセント	一般	床上 ~ 中心	約 400 ~
	台上	台上 ~ 中心	約 200
	土間	床上 ~ 中心	約 800
	量	床上 ~ 中心	約 400
	手元開閉器	床上 ~ 中心	約 1,500
壁掛型削髪器	床上 ~ 中心	約 1,500	
消火栓表示灯	床上 ~ 中心	約 2,000	~ 2,500
端子盤	床上 ~ 下端	約 700	~
保安器ボックス	床上 ~ 下端	約 2,000	
電話位置ボックス類、テレビ端子	コンセントに挿じる		
受信機、副受信機(壁掛型)	床上 ~ 操作部	約 800	~ 1,400
分布型感知器	床上 ~ 中心	約 1,700	
発信機	床上 ~ 操作部	約 800	~ 1,400
表示灯	床上 ~ 中心	約 1,900	
ベル	床上 ~ 中心	約 2,300	
感知器試験機	床上 ~ 中心	約 1,500	
呼出プザ	床上 ~ 中心	約 1,500	
トイレ呼出ボタン	床上 ~ 中心	約 400、800	
押ボタン	屋外	床上 ~ 中心	約 1,500
	屋内	床上 ~ 中心	約 1,300
インターホン(壁掛)	床上 ~ 中心	約 1,100	
時計	床上 ~ 中心	約 2,300	
警報盤	床上 ~ 中心	約 1,300	
壁掛音量調節器	床上 ~ 中心	約 1,100	
スピーカー	床上 ~ 中心	約 2,300	
表示器	床上 ~ 中心	約 2,300	

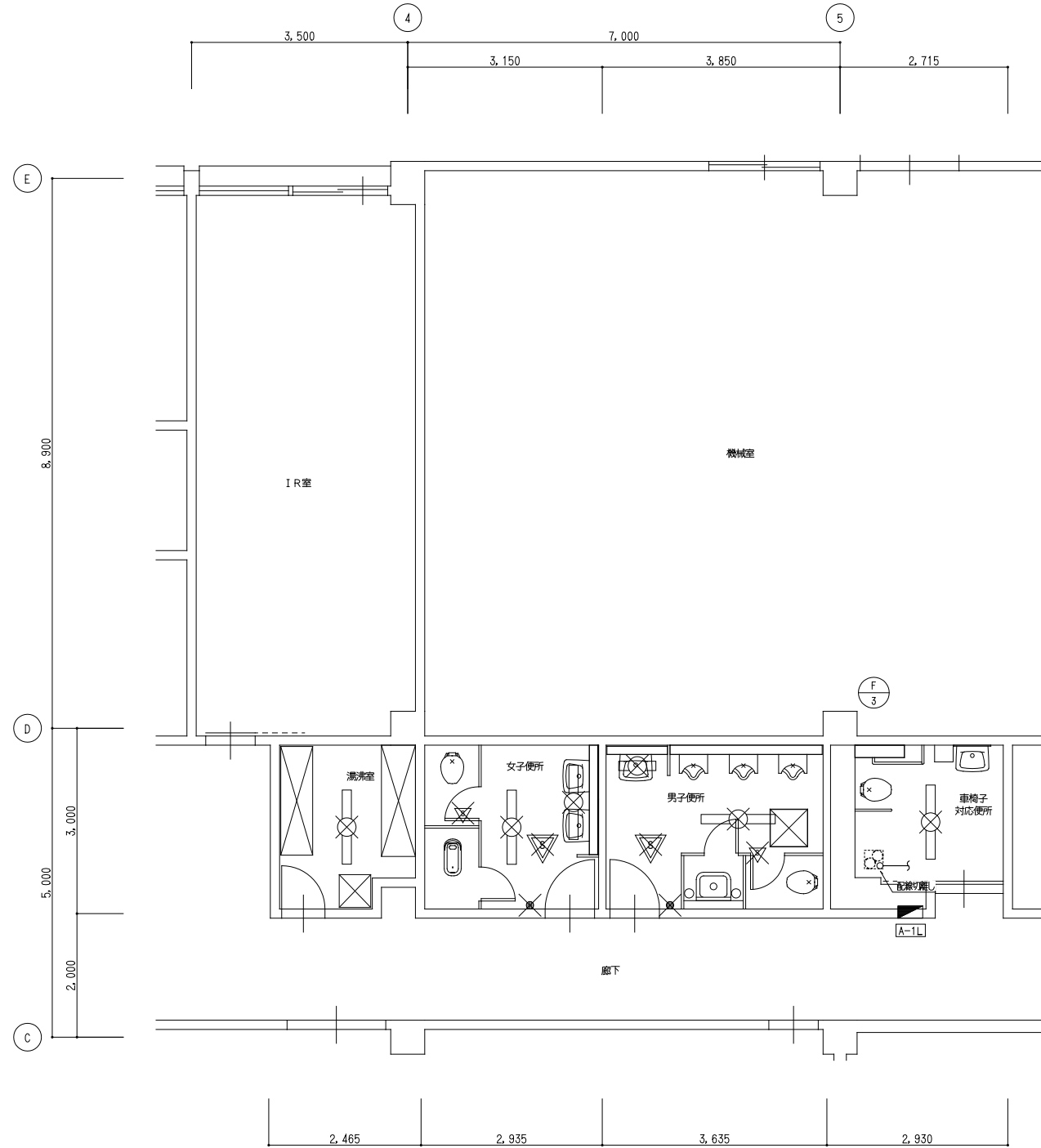
工事区分		別表-1の記入上の注意 該当箇所は ●(黒塗り)とし該当しない工事内容及び区分は斜線消去すること				
別表-1 他工事との工事区分表		工 事 内 容	建築 工事	電気設備 工事	機械設備 工事	別途 工事
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内	○		
			屋外	○		
			屋上	○		
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	○			
	機械関係	テレビアンテナ基礎(#)	○			
		避雷針の基礎(#)	○			
		屋内設備(架台、アンカーボルトを除く)	○			
		屋上設備(#)	○			
		屋外設備(#)	○			
		架台、アンカーボルト	○			
開口部	特記した基礎	○				
	梁、床、壁、貫通スリーブ	○				
	補強を要しないもの	○				
	梁、床、壁、貫通部型枠	○				
	補強を要しないもの	○				
	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	●				
	補強を要しないもの(アフレッドボックスは除く)	○				
	埋込分電盤、端子盤等の型枠	○				
	補強を要しないもの	○				
	上記開口部の補強	●				
上記開口部の露出し	○					
スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)	●					
フリーアクセスフロア用配線器具	○					
点検口	床、壁、天井	●				
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	○				
湯沸室のフード		○				
換気扇の取付枠		○				
流し台	排水トラップ共	○				
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	○				
	タンク基礎	○				
床下水槽のマンホールふた		○				
屋外排水管	雨水	○				
	汚水、雑排水	○				
雨水立管(たてどい)		○				
トイレ手すり		○				
化粧がすみ		●				
はめ込形洗面器用カウンター(前板式)		○				
ガスボンベ転倒防止用の鎖		○				
電気・配管・記録	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配線配線及び操作スイッチ	○				
	防火扉レリーズ	○				
	電線導	○				
	配線ピット及びふた	○				
	機器などへの接続(1次側)	○				
機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共)	○					
機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○					
自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	○					
自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	○					
天井吊り形FCU、個別パッケージ、付属操作スイッチとの渡り配管(接地共)	○					
個別パッケージ、付属操作スイッチとの渡り配線	○					
全機交換ユニット等の機器	付属操作スイッチ	○				
個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)	付属操作スイッチの埋込ボックス	○				
煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンプに至る配管配線		○				
小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線		○				
ガス漏れ検知器		○				
電気能	電気能及び通電金具	○				
	TENキー及び削髪器	○				
エレベーター出入口三方枠(金属製)	○					
エレベーター出入口三方枠(石製)	○					
シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン	○					
システム天井	ボード・Tバー	○				
	照明ライン設備プレート	○				
	空調ライン設備プレート	○				



改修前

撤去機器リスト

室名	機器名称	仕様・形状	数量	備考
洗面室	照明器具	埋込FL40W-1	1	再使用しない
女子便所	照明器具	埋込LED(Hf32WX1相当)	2	再使用しない
	配線器具	人感センサー調光機	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー子機	1	再使用しない
	配線器具	タンブラスイッチ 1P15AX1, PL付	1	再使用しない
男子便所	照明器具	埋込LED(Hf32WX1相当)	1	再使用しない
	照明器具	埋込LED(Hf16WX1相当)	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー調光機	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー子機	1	再使用しない
車椅子対応便所	配線器具	タンブラスイッチ 1P15AX1, PL付	1	再使用しない
	照明器具	埋込FL40W-1	1	再使用しない



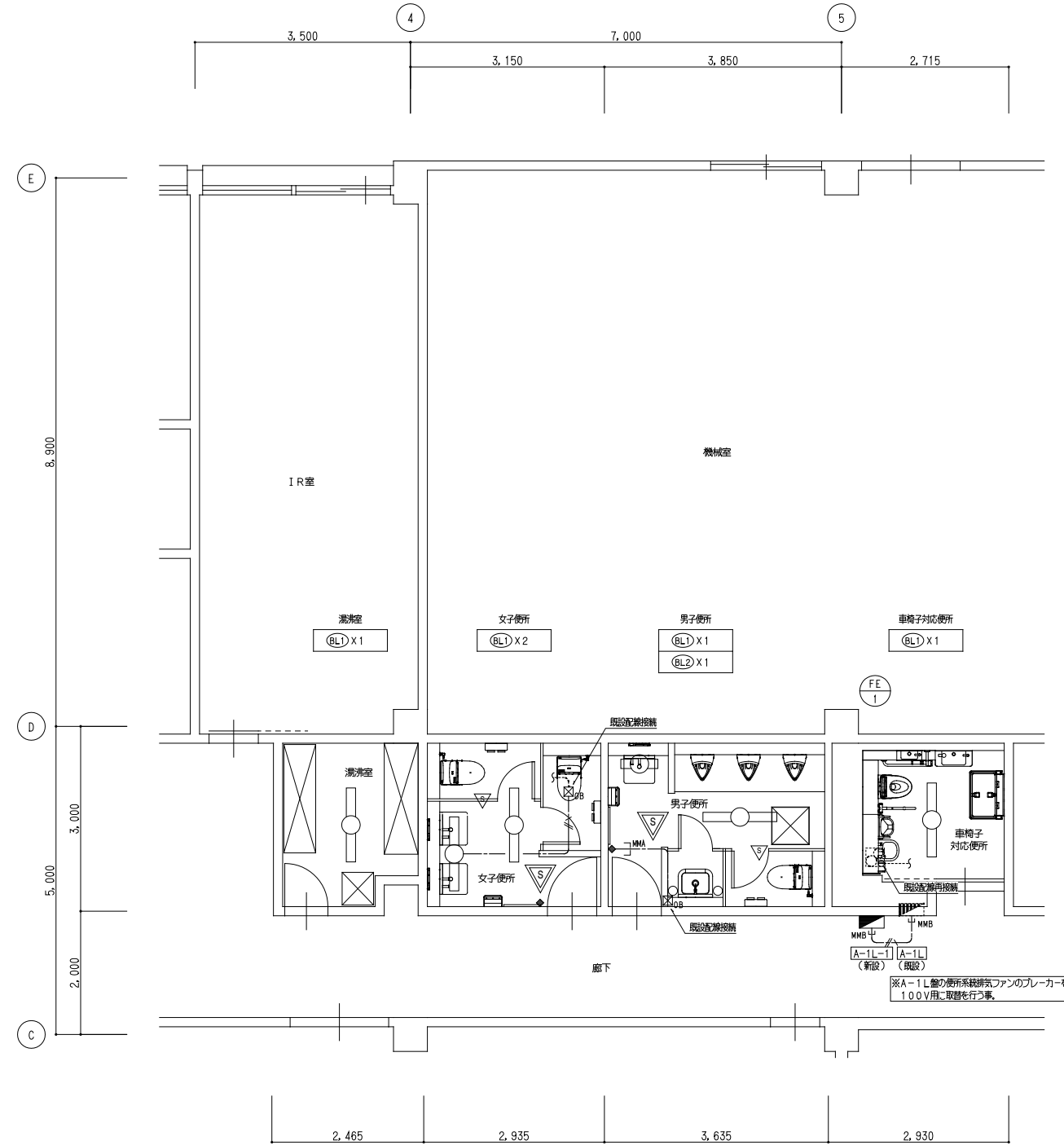
1階平面詳細図 1:50

注記) 図中 ⊗ は撤去とする。

改修後

照明器具姿図

公共型番: LSS9-4-30	公共型番: LSS9-2-15
器具長さ3200mm, 消費電力: 20.6W	器具長さ1600mm, 消費電力: 11.6W
電圧: 100~242V 定格: (5000K) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)	電圧: 100~242V 定格: (5000K) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)
BL1 LED直付ベースライト	BL2 LED直付ベースライト



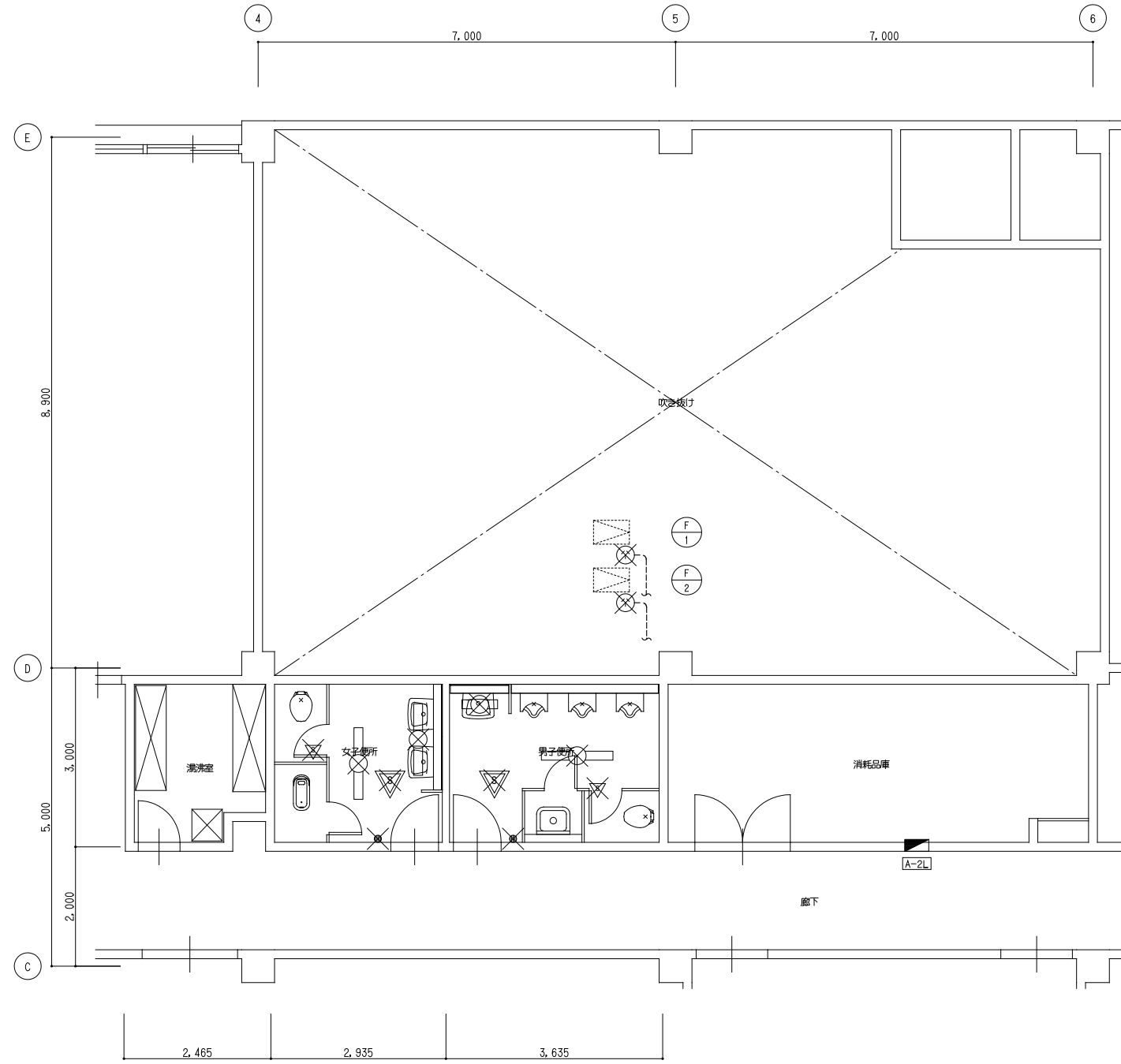
1階平面詳細図 1:50

- 凡例)
- ⊗ アウトレットボックス
 - 人感センサー操作スイッチ
 - ▽ 人感センサー調光機
 - ▽ 人感センサー子機
 - MMA 1種金属線材 A型
 - MMB 1種金属線材 B型
- 注記)
- ・利便性を考慮し下記による。
 - EM-EEF2.0-2C (こころがし)
 - EM-EEF2.0-3C (こころがし)

改修前

撤去機器リスト

室名	機器名称	仕様・形状	数量	備考
女子便所	照明器具	埋込LED(Hf32WX1相当)	2	再使用しない
	配線器具	人感センサー-親機	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー-子機	1	再使用しない
	配線器具	タンブラスイッチ 1P15AX1, PL付	1	再使用しない
男子便所	照明器具	埋込LED(Hf32WX1相当)	1	再使用しない
	照明器具	埋込LED(Hf16WX1相当)	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー-親機	1	再使用しない
	配線器具	人感センサー-子機	1	再使用しない
収収	配線器具	タンブラスイッチ 1P15AX1, PL付	1	再使用しない
	配線器具	露出コンセント 2P20A(200V)X1	2	再使用しない



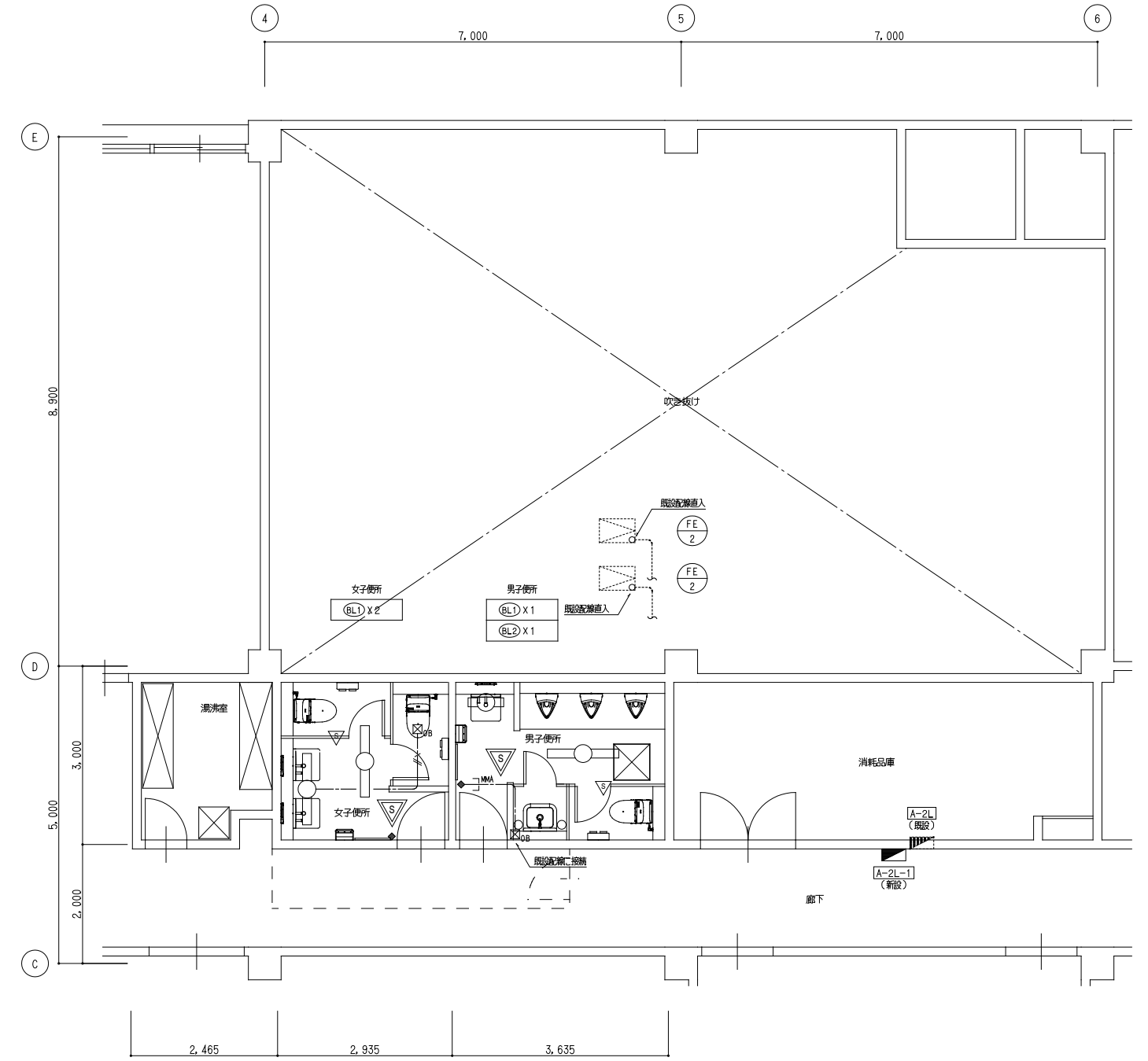
2階平面詳細図 1:50

注記) 図中 X は撤去とする。

改修後

照明器具姿図

公共型番: LSS9-4-30	公共型番: LSS9-2-15
器具長さ3200mm, 消費電力: 20.6W	器具長さ1600mm, 消費電力: 11.6W
電圧: 100~242V 昼白色(5000K) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)	電圧: 100~242V 昼白色(5000K) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)
BL1 LED直付ベースライト	BL2 LED直付ベースライト



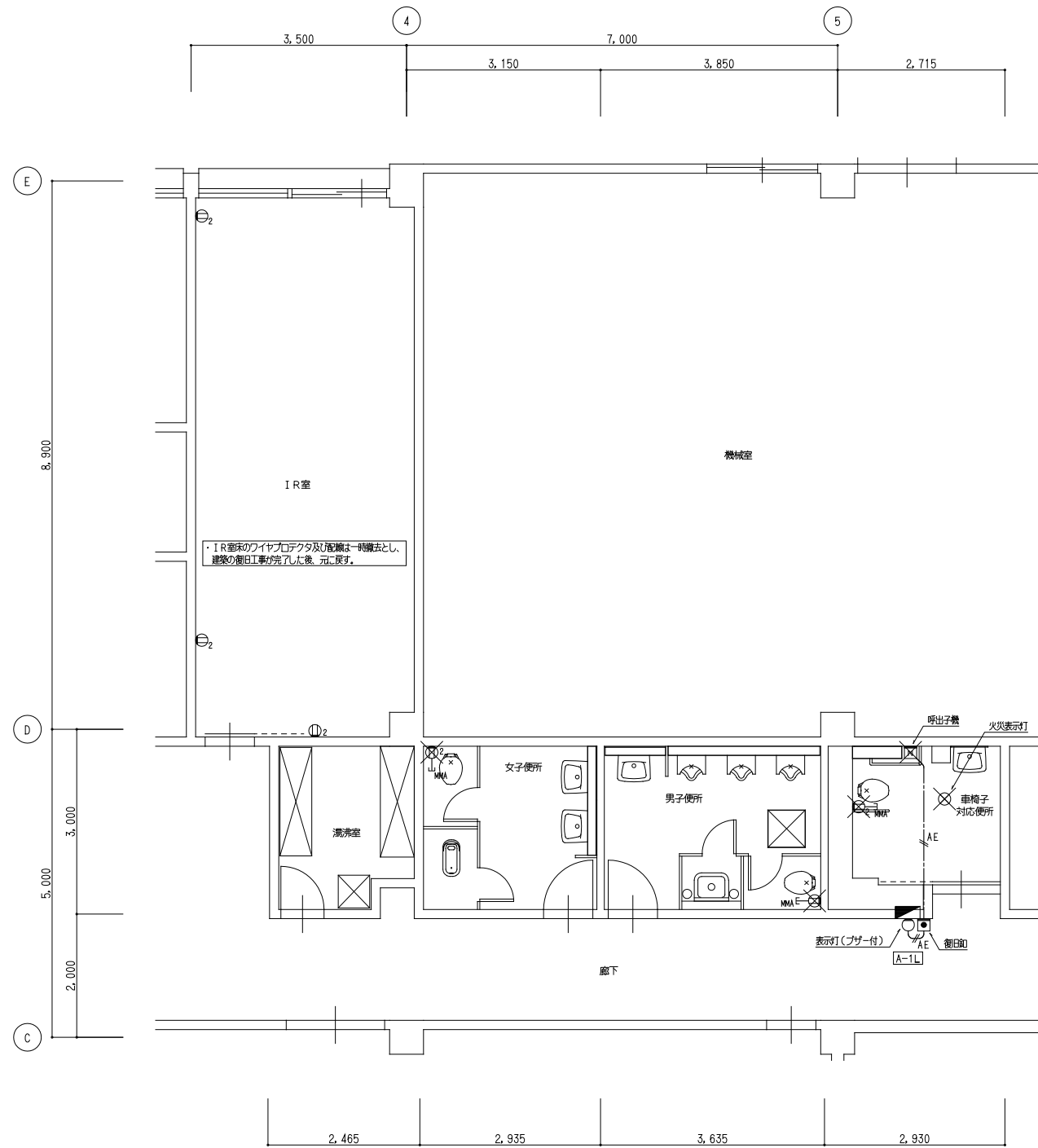
2階平面詳細図 1:50

- 凡例)
- OB アウトレットボックス
 - 人感センサー-操作スイッチ
 - ▽ 人感センサー-親機
 - ▽ 人感センサー-子機
 - MMA 1種金属線材 A型
 - MB 1種金属線材 B型
- 注記)
- EM-EEF2.0-2C (こころし)
 - EM-EEF2.0-3C (こころし)

改修前

撤去機具リスト

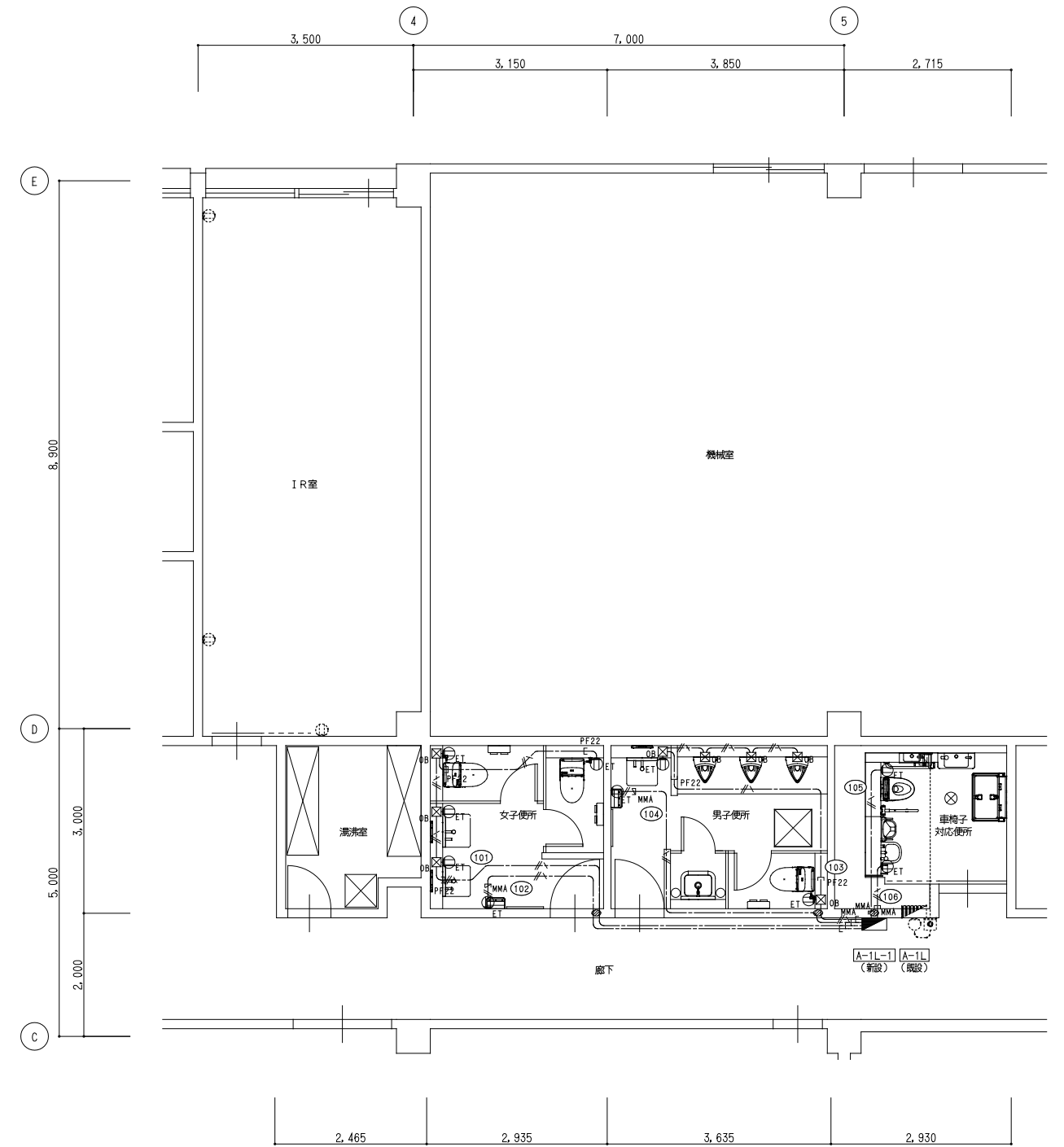
室名	機器名称	仕様・形状	数量	備考
女子便所	配線器具	埋込コンセント 2P15AX2	1	再使用しない
男子便所	配線器具	埋込コンセント 2P15AX2	1	再使用しない
車椅子対応便所	配線器具	埋込コンセント 2P15AX2	1	再使用しない
	配線器具	トイレ呼出子機	1	再使用する
	配線器具	火災表示灯	1	再使用する



1階平面詳細図 1:50

- 凡例)
- 1種金庫庫内 A型
- 注記)
- ・特記なき配線は下記による。
 - AEL 2-2C (こるがし)
 - 図中 ⊗ は撤去とする。
 - ・配線器具の撤去に伴う、撤去配管及びボックス類についても撤去を行う。

改修後

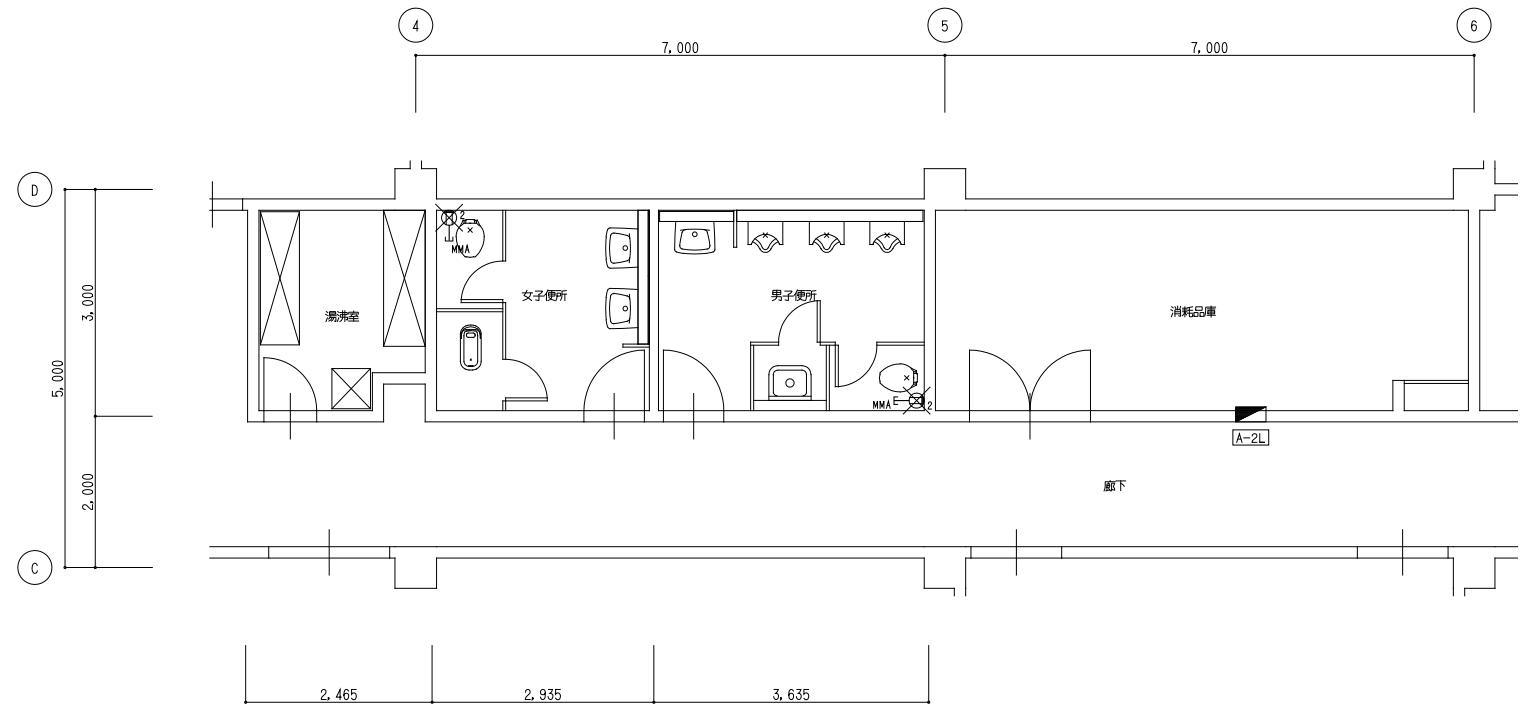


1階平面詳細図 1:50

- 凡例)
- 06 アウトレットボックス
 - ET 埋込コンセント 2P15AX2, ET付
 - MMA 1種金庫庫内 A型
 - PF22 可とう電線管 PF 22
- 注記)
- ・特記なき配線は下記による。
 - EM-EFF2.0-3C (こるがし)
 - 図中 ⊗ 表示部分は、区画費通所を示す。

改修前

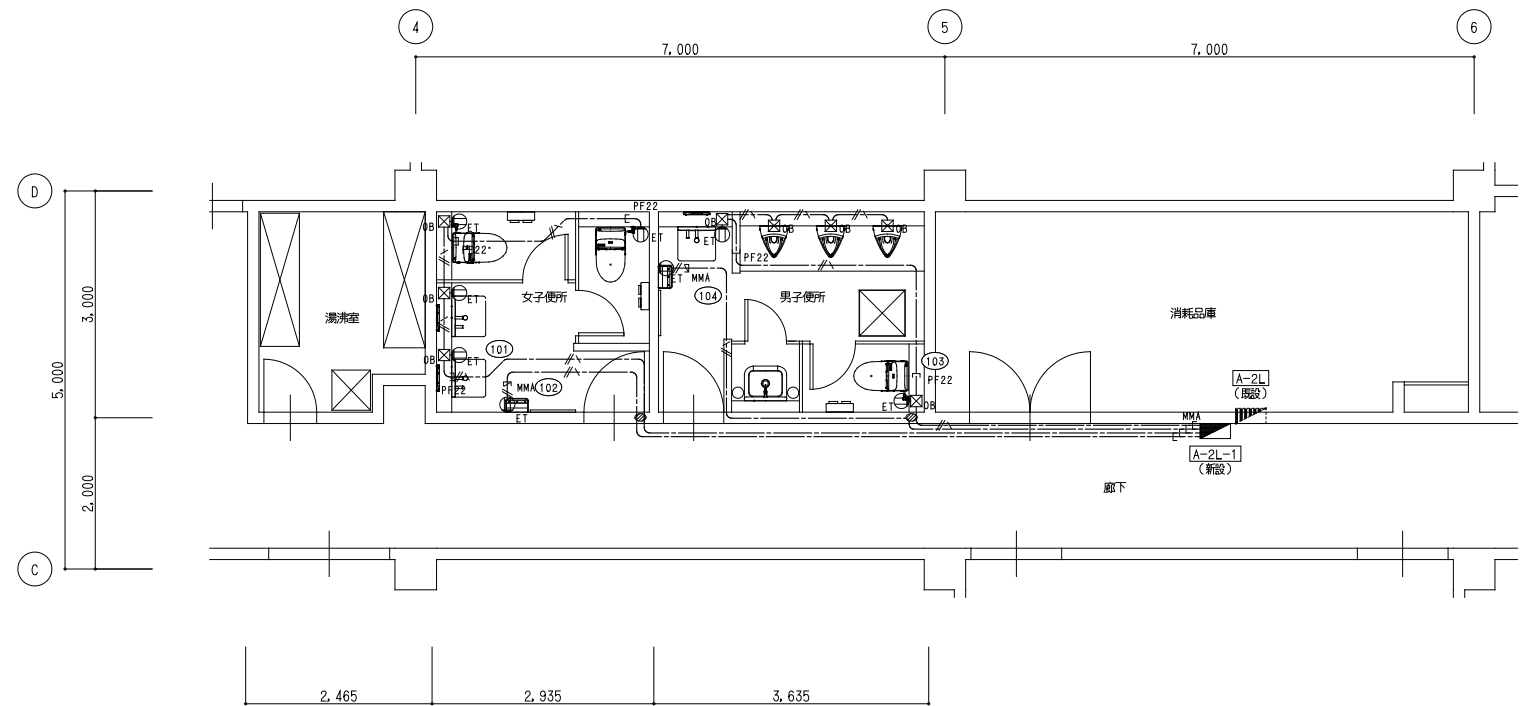
撤去機具リスト				
室名	機具名称	仕様・形状	数量	備考
女子便所	配線器具	壁コンセント 2P15AX2	1	再使用しない
男子便所	配線器具	壁コンセント 2P15AX2	1	再使用しない



2階平面詳細図 1:50

凡例) 1種金属網 1 A型
 注記) 図中 × は撤去とする。
 ・配線器具の撤去に伴う、漏れ配管及びボックス類についても撤去を行う。

改修後



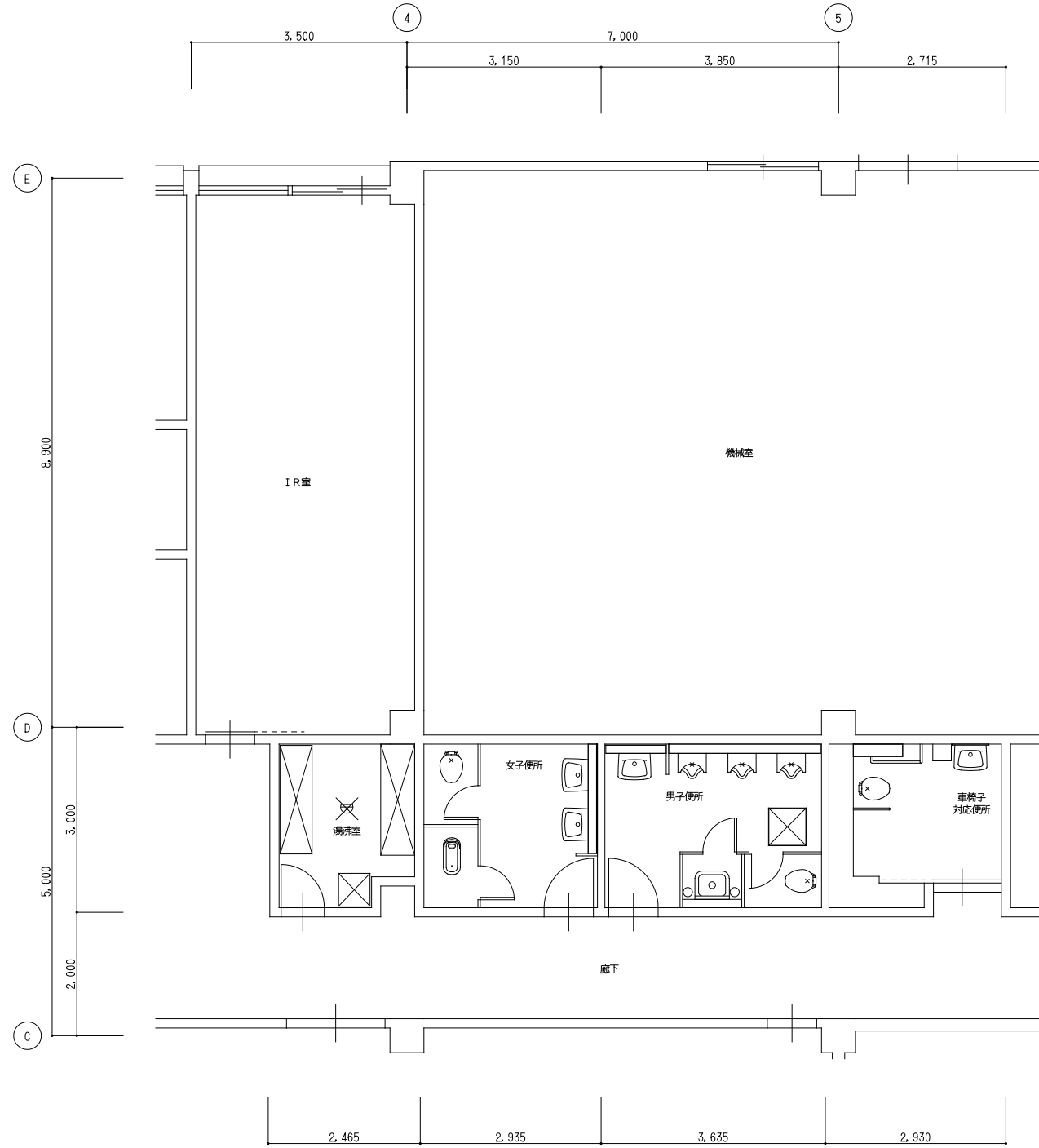
2階平面詳細図 1:50

凡例) OB アウトレットボックス
 ET 壁コンセント 2P15AX2, ET付
 1種金属網 1 A型
 PF22 可とう電線管 PF 22
 注記) 特記なき配線は下記による。
 EM-EFF2, 0-3C (こまがし)
 ・図中点線表記部分は、撤去を示す。
 ・図中 ⊗ 表記部分は、区画費通所を示す。

改修前

撤去器具リスト

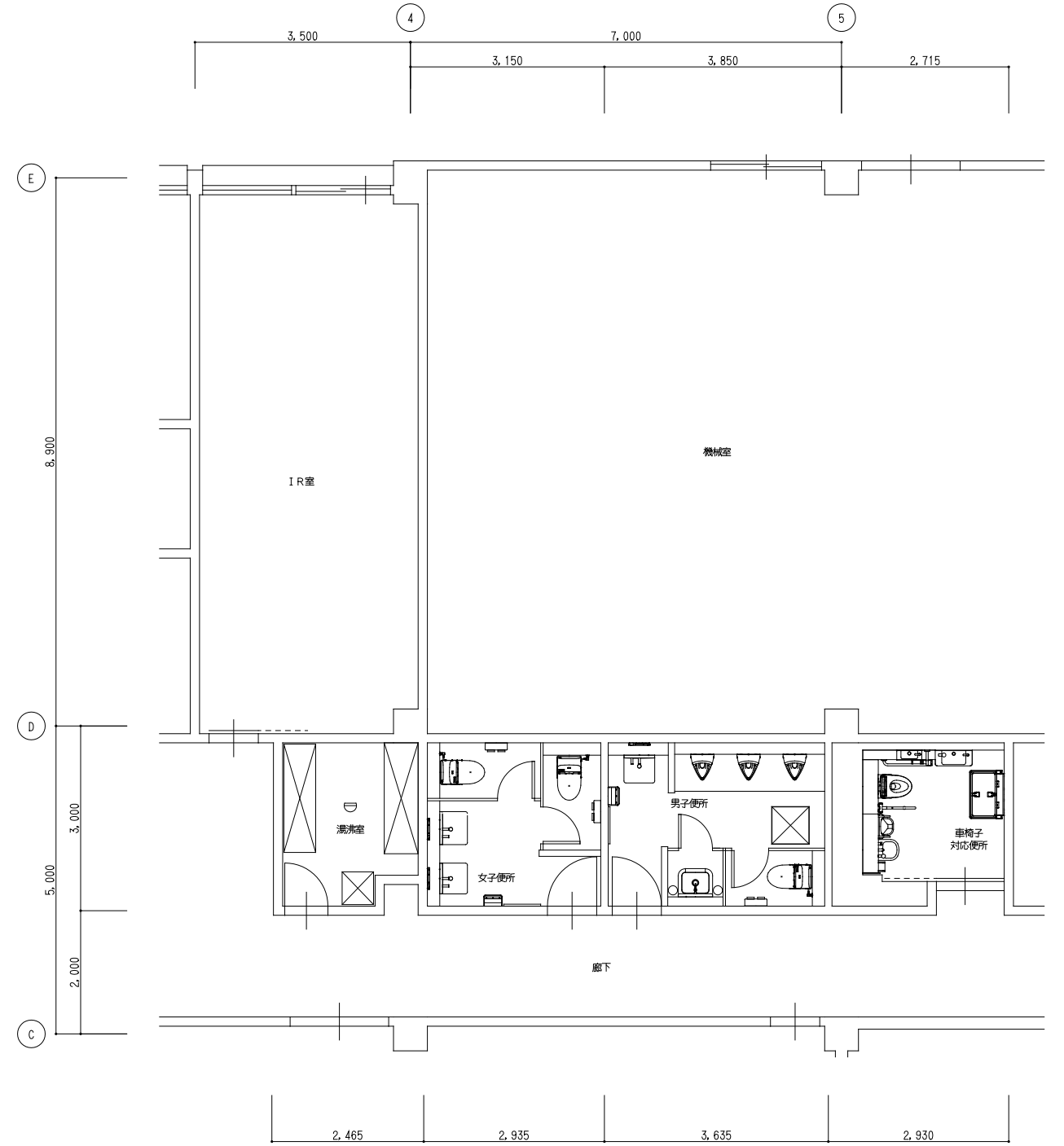
室名	機器名称	仕様・形状	数量	備考
洗滌室	感知器	スポット型感知器 定建式	1	再使用する



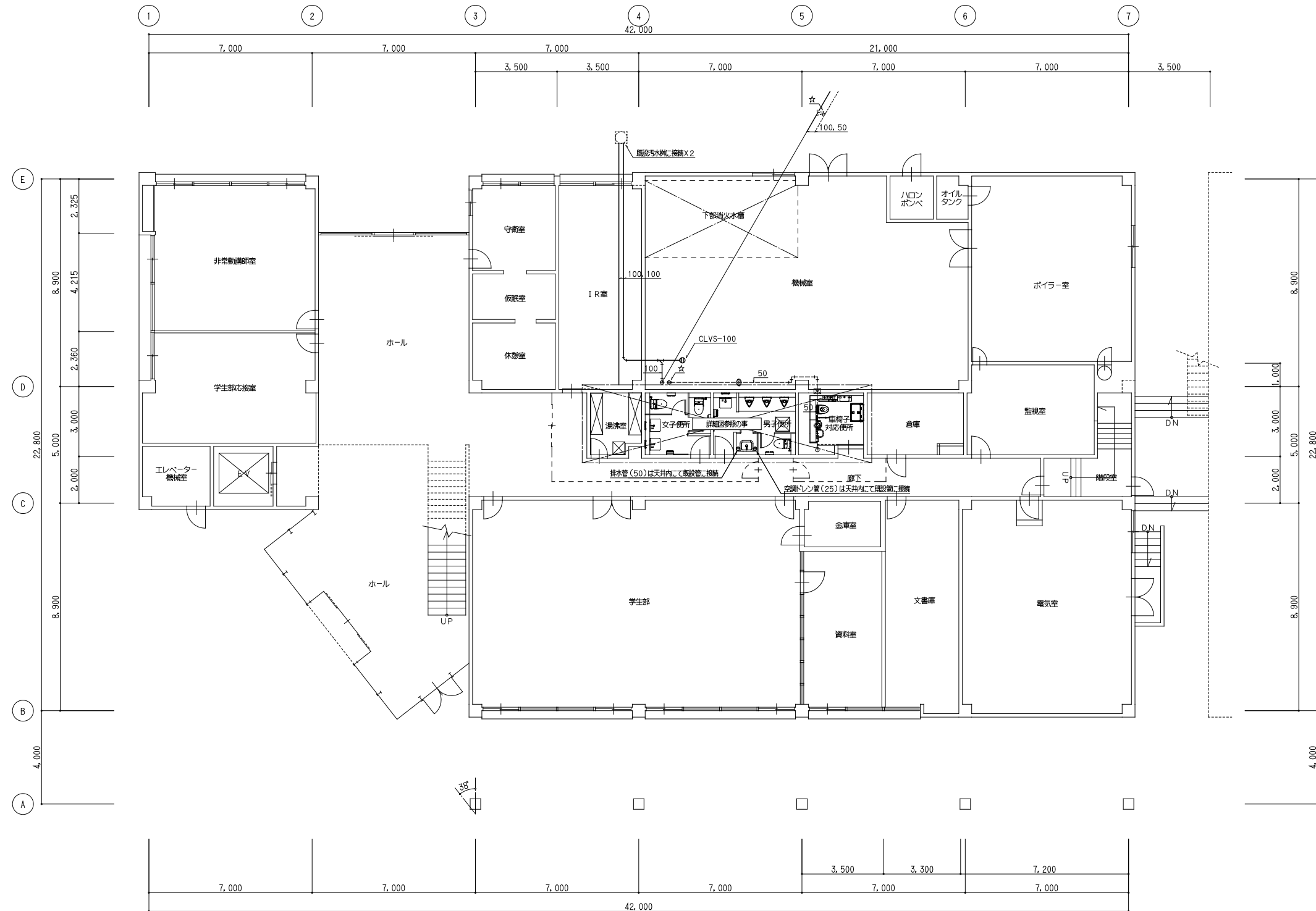
1階平面詳細図 1:50

注記)
 ・図中 \times は撤去とする。
 ・工事期間中は送引設備を行うこと。

改修後



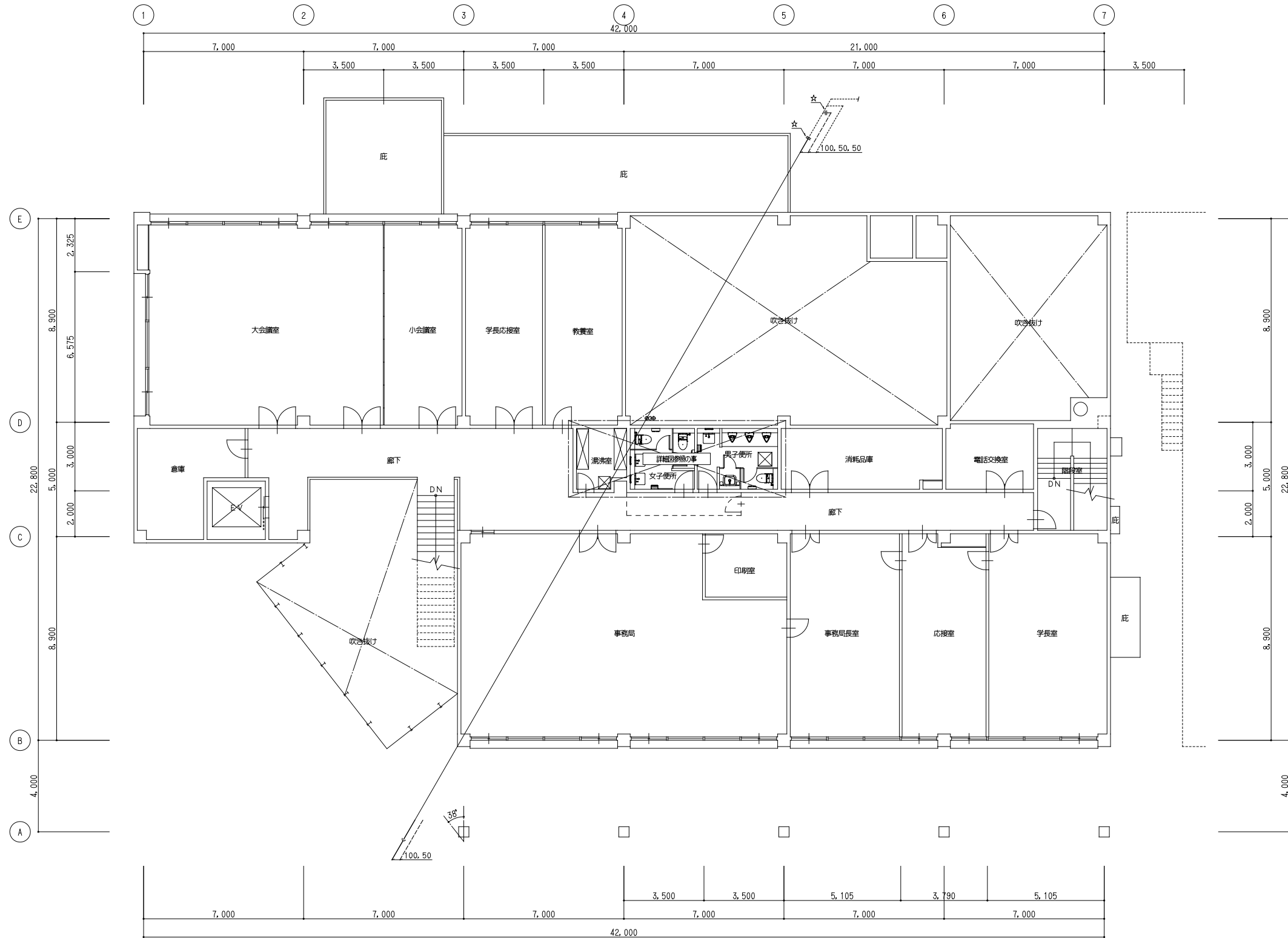
1階平面詳細図 1:50



1階平面図 1:100

- 注記)
- ・図中点線部分は既設を示す。
 - ・図中破線は配管への接続を示す。
 - ・図中◎は1F天井配管を示す。
 - ・図中⊗は壁のダイヤイント配管を示す。
 - ・床の削り、屋外のアスファルト解体・撤去は建築工事とする。

改修後



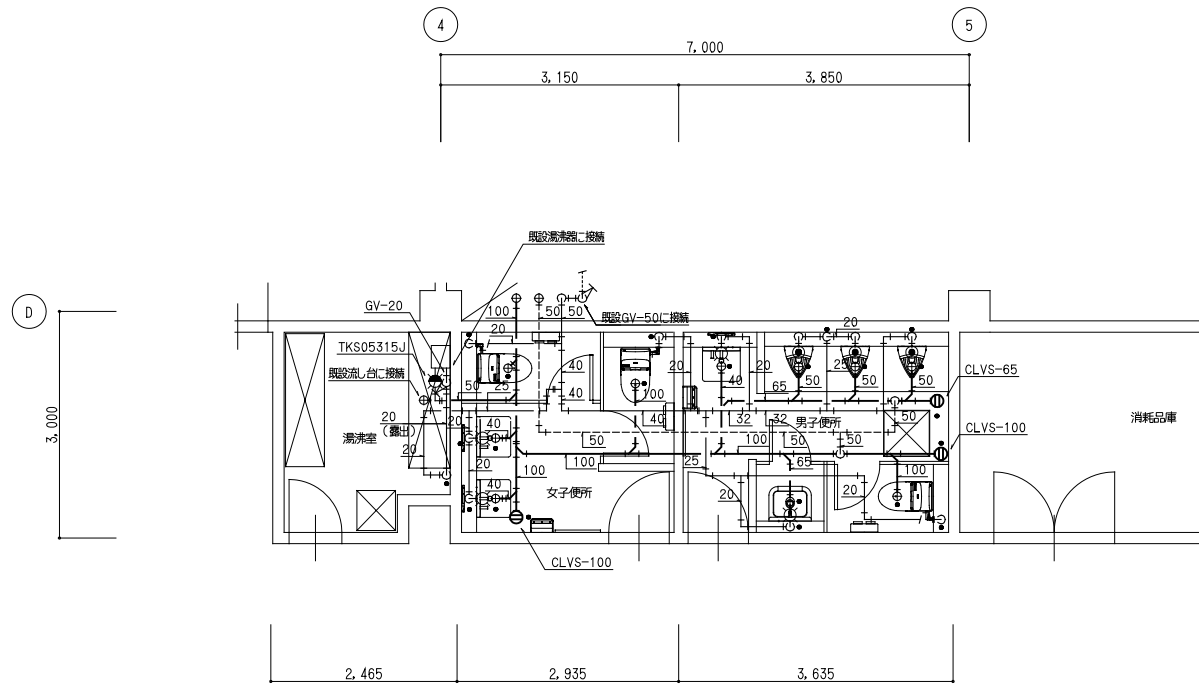
2階平面図 1:100

注記)
 ・図中点線部分は取替を示す。
 ・図中☆は取替管への接続を示す。

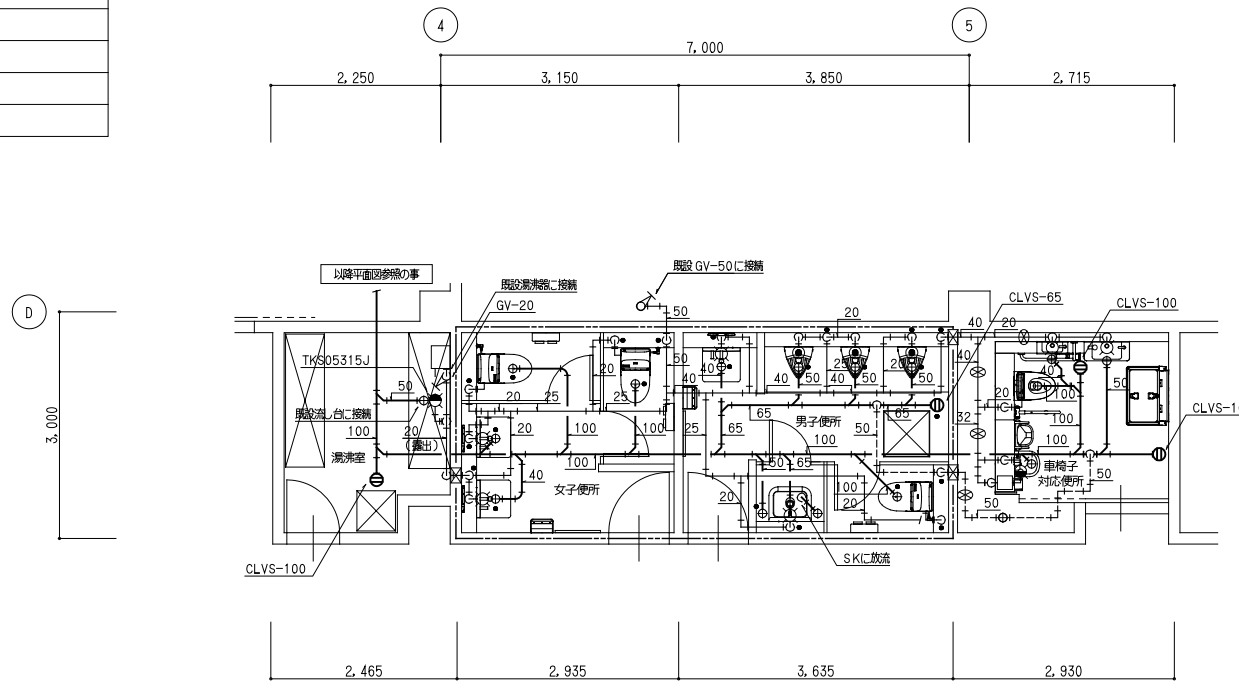
改修後

衛生器具明細表

名称	型式	付属品・仕様	数量	1階		2階		備考	
				男子便所	女子便所	車椅子対応便所	男子便所		女子便所
洋風大便器	CS498BCK	SP498BAY(フラッシュタンク)、TCF5534(洗浄便座)、YH701(紙巻器)	6	1	2		1	2	
小便器	UFS900R	壁ノブタイプ、自動洗浄	6	3			3		
壁掛洗面器	LSA135AA	自動水栓、水石けん付機付	6	1	2		1	2	
掃除機	SK22A	T23AEQ20C、TN114、T375GEP	2	1			1		
コンパクト多機能トイレパック	UADBY61R1A1ASD1W	TCF5554AUP(洗浄便座)	1			1			
ペーパーシート	YKA25S	固定金具付	1			1			
ジェットタオル	TYC420W	ヒーター有	4	1	1		1	1	
化粧鏡	YMK51K	新食鏡 寸法 360X1100	6	1	2		1	2	
化粧箱	YKH50A	アルミ製 寸法 150X150	6	1	2		1	2	

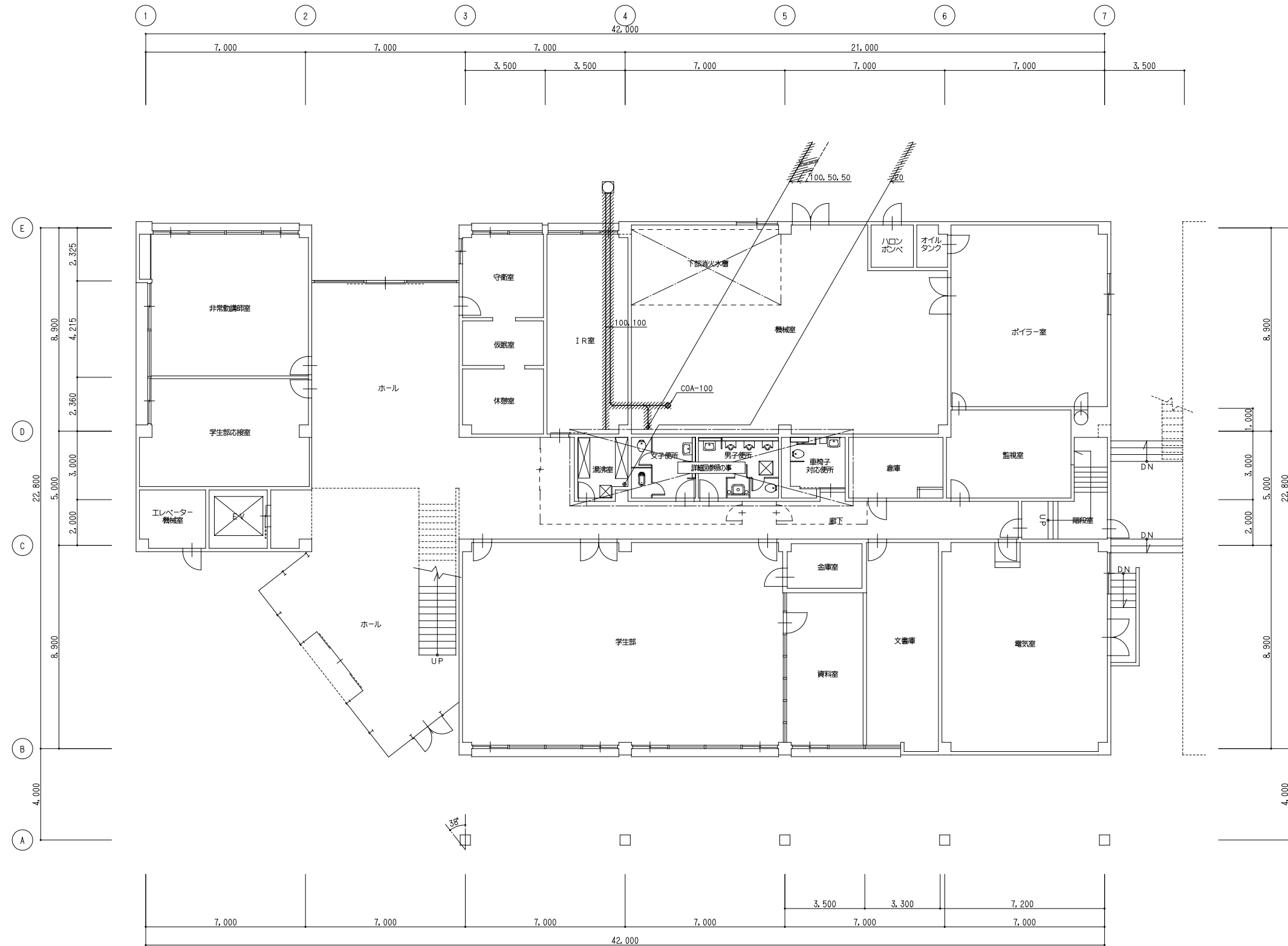


2階平面詳細図 1:50 注記)
 ・図中●は床のダイヤモント位置を示す。



1階平面詳細図 1:50 注記)
 ・図中●は床のダイヤモント位置を示す。
 ・図中□は壁のダイヤモント位置を示す。
 ・図中□は床上げ設備(インバク)を示す。
 ・図中---は引越位置を示す。

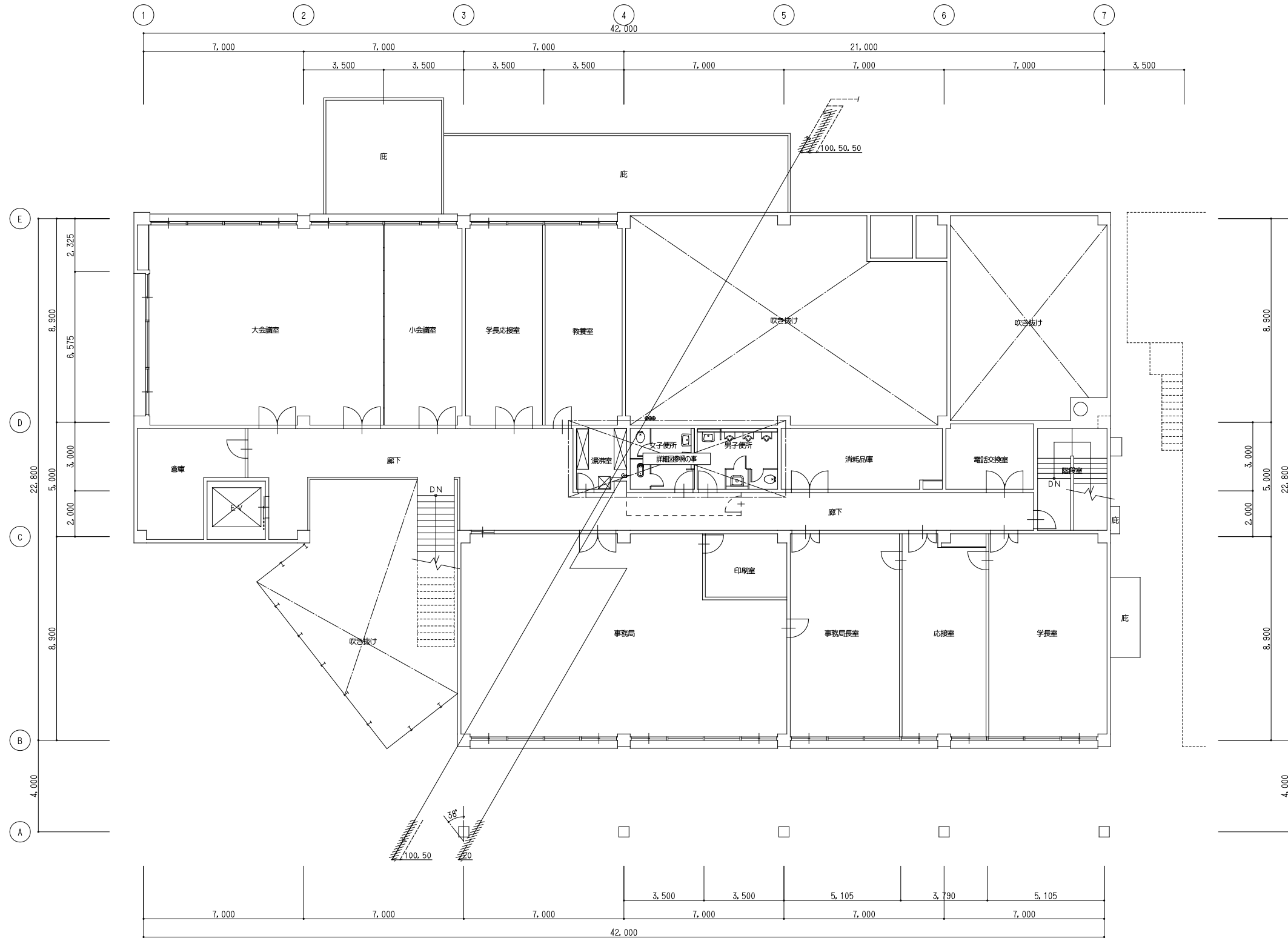
改修前



1階平面図 1:100

注記)
 ・図中斜線部分は撤去を示す。
 ・既設床の削り、及びアスファルト解体剥離は建築工事。

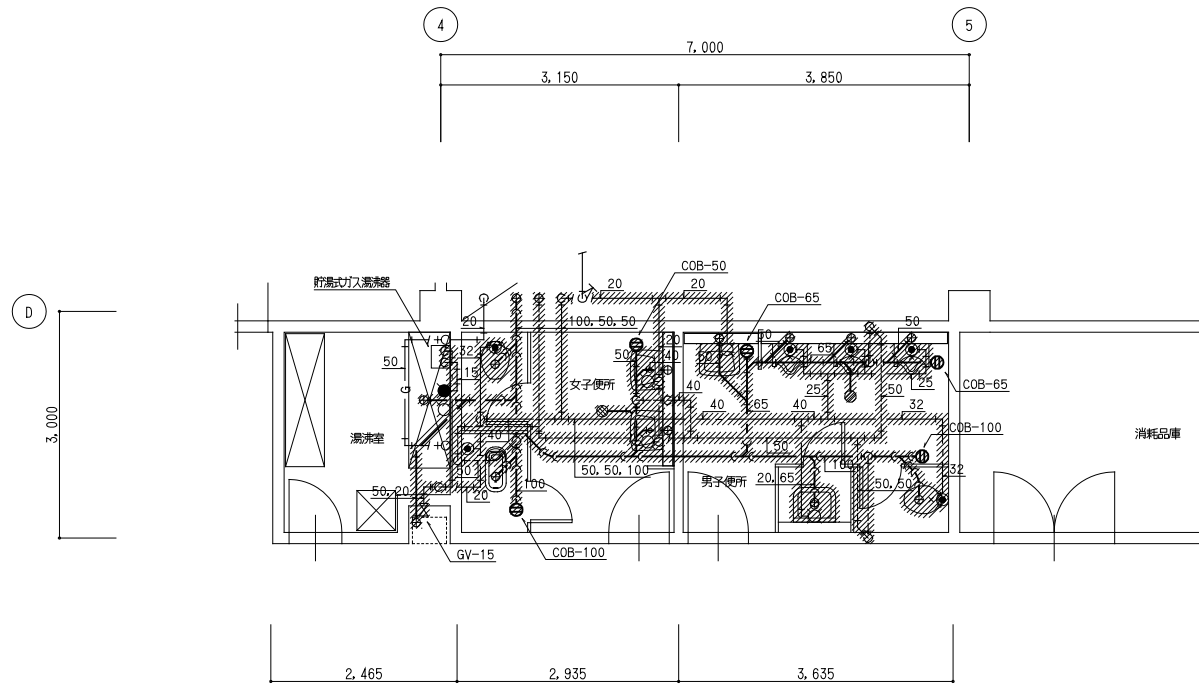
改修前



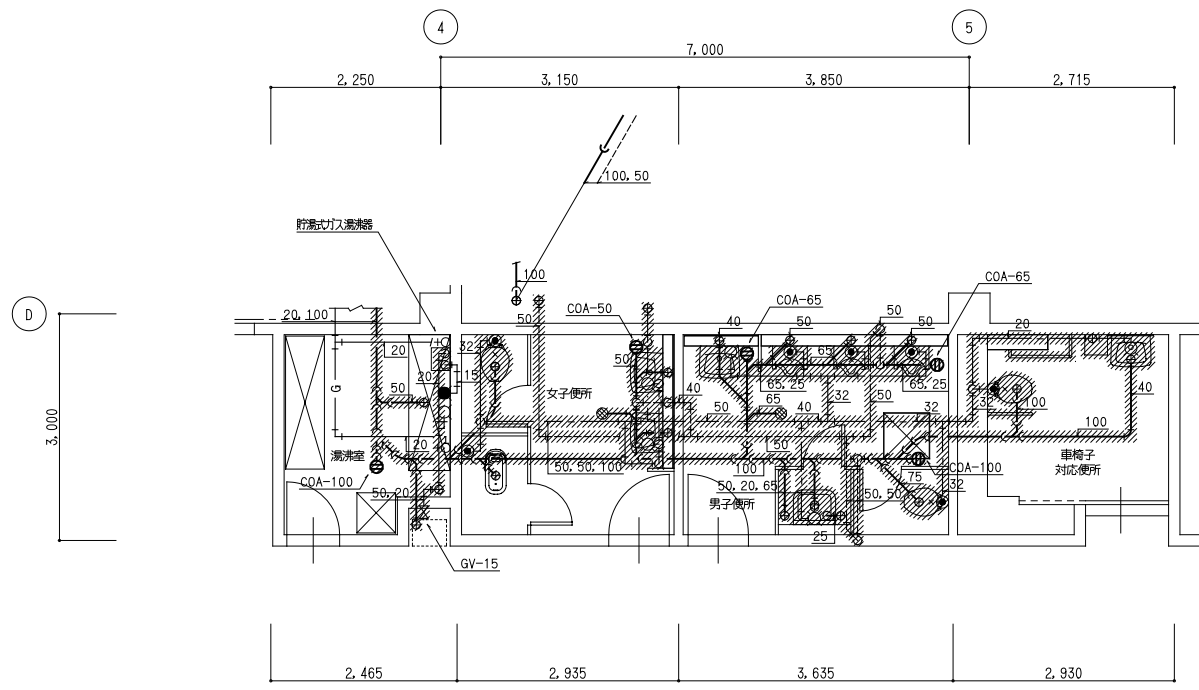
改修前

撤去衛生器具明細表

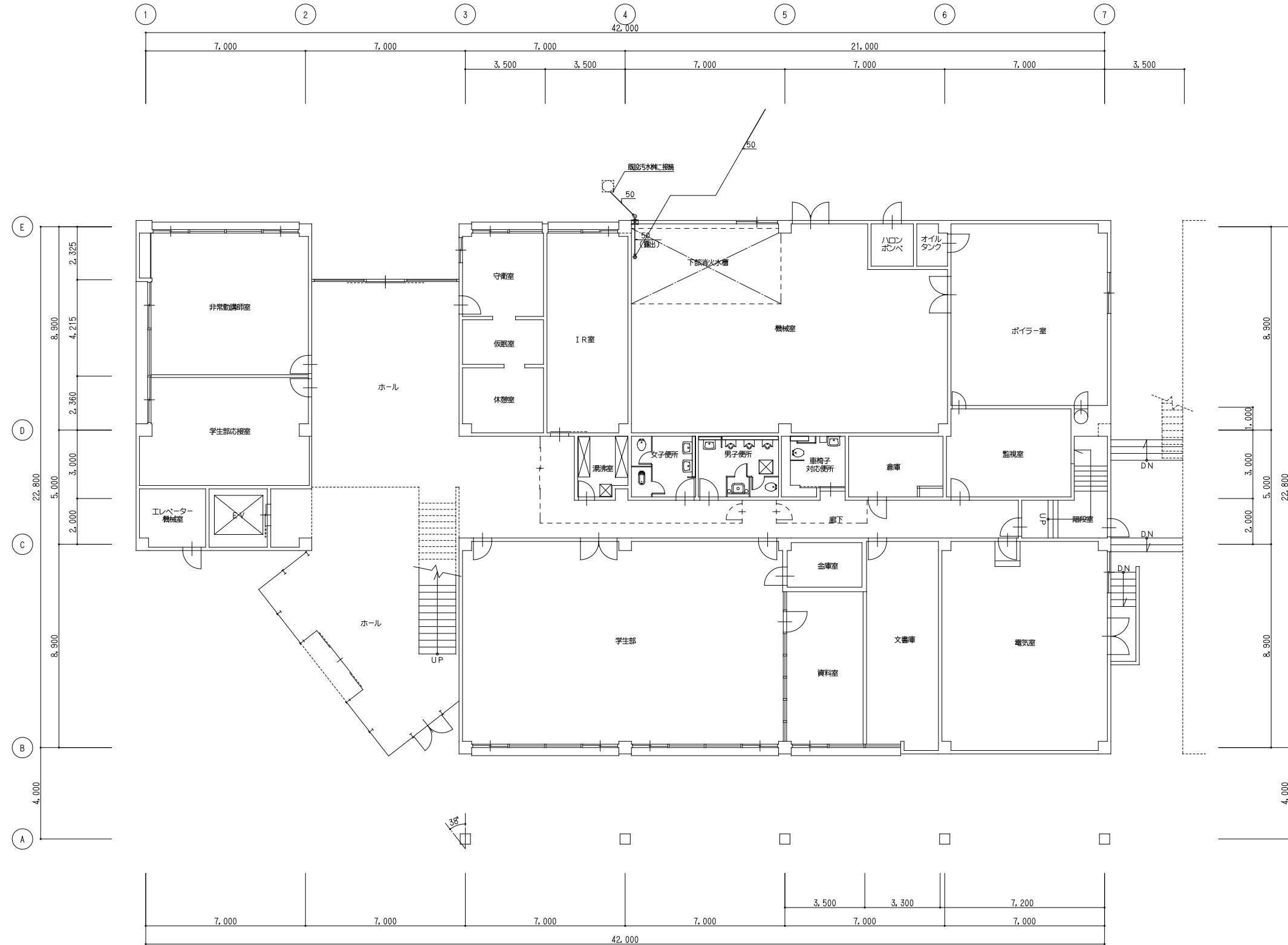
名称	付属品・仕様	数量	1階		2階		備考
			男子便所	女子便所	車椅子対応便所	男子便所	
洋風大便器	フラッシュバルブ、洗浄便座、便音装置、紙巻器	5	1	1	1	1	
和風大便器	フラッシュバルブ、便音装置、紙巻器	2		1		1	
壁掛小便器	フラッシュバルブ	6	3		3		
壁掛洗面器	自動水栓	7	1	2	1	1	2
掃除機		2	1		1		
手すり	L型	1		1			
手すり	はね上げ式	1		1			
電気温水器	タンク容量 14L	1		1			
大型鏡		4	1	1	1	1	
化粧鏡	(建築工事)	1		1			



2階平面詳細図 1:50
注記) 図中斜線部分は撤去を示す。

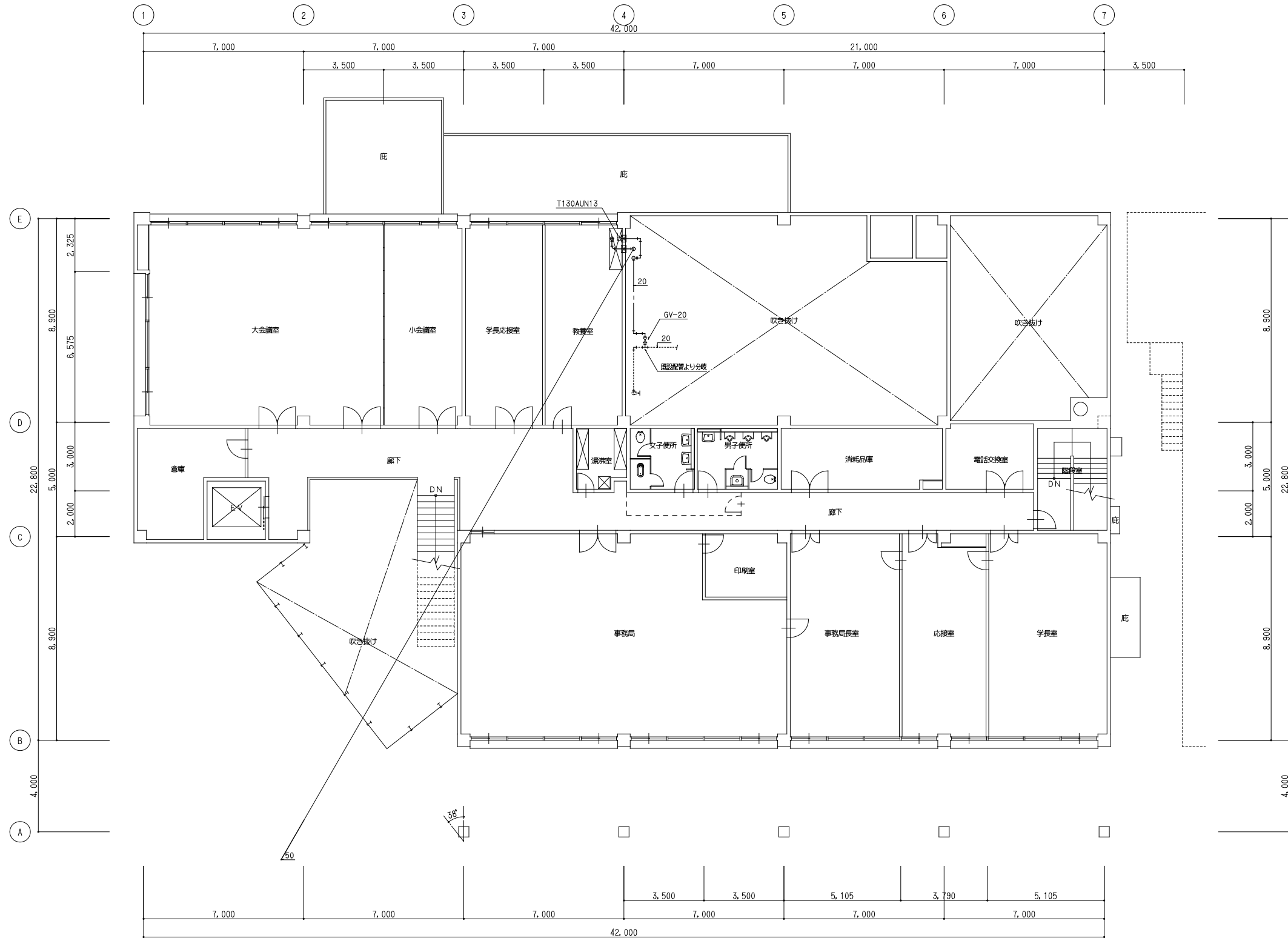


1階平面詳細図 1:50
注記) 図中斜線部分は撤去を示す。



1階平面図 1:100

- 注記)
- ・図中点線部分は仮設を示す。
 - ・図中□は壁のタイプを付記する。
 - ・仮設改修は改修工事完了後撤去の事。(埋設は除く)
 - ・アスファルトの解体・撤去は建築工事。
 - ・配管撤去後の穴埋めは木工事とする。(仕上りは建築工事)



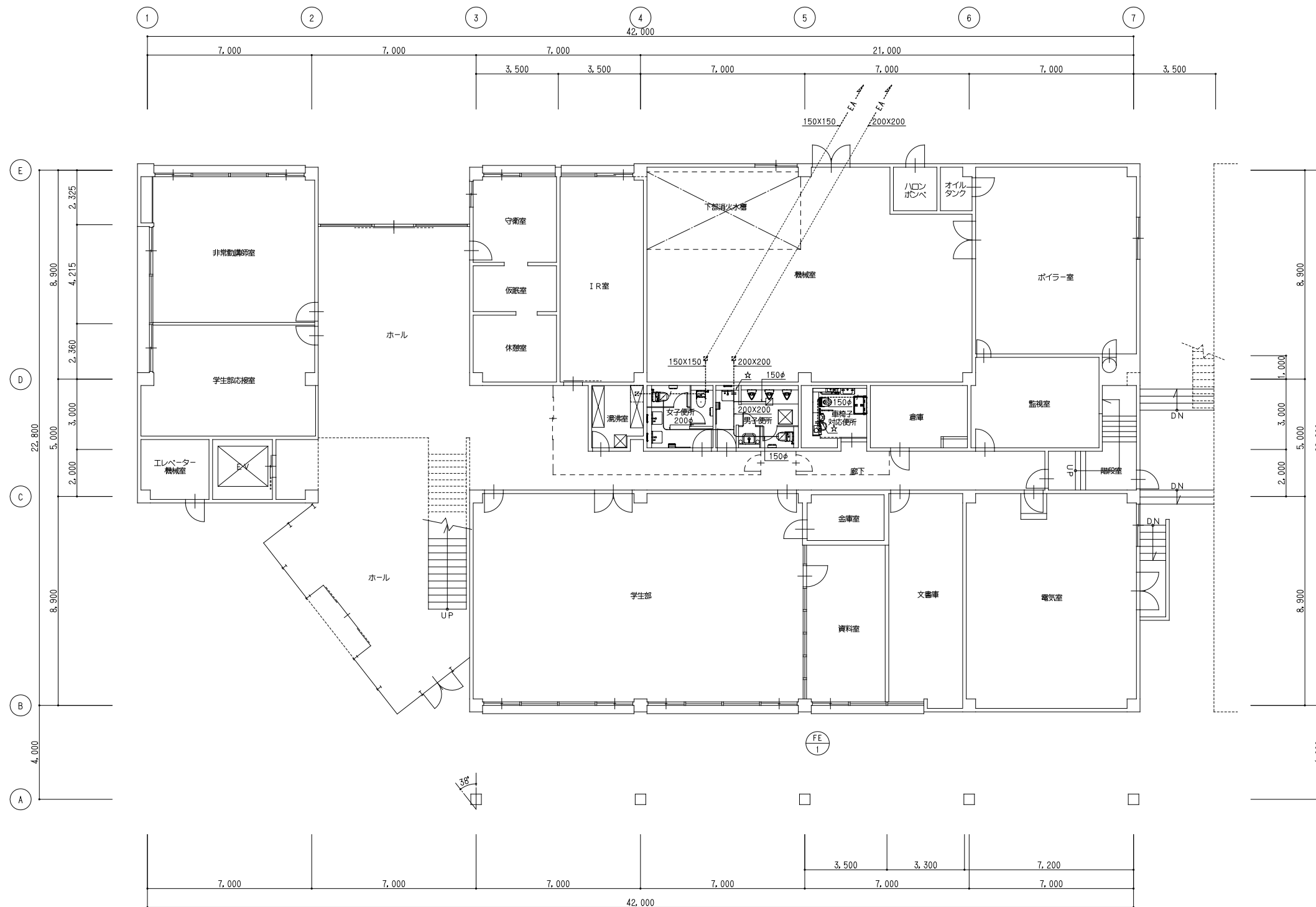
2階平面図 1:100

- 注記
- ・図中点線部分は仮設を示す。
 - ・図中□は壁のタイプを明示する。
 - ・仮設設備は改修工事完了後撤去の事。
 - ・配管撤去後の穴埋めは木工事とする。(仕上げは建築工事)

改修後

主要機器明細表

機器 番号	機器名称	仕様	電源		台 数	備 考
			消費電力	相 電圧 (V)		
FE 1	換気扇	天井埋込形 低騒音プラスチックタイプ	49 W	1	100	1
		150φX250m ² /hX100Pa				



1階平面図 1:100

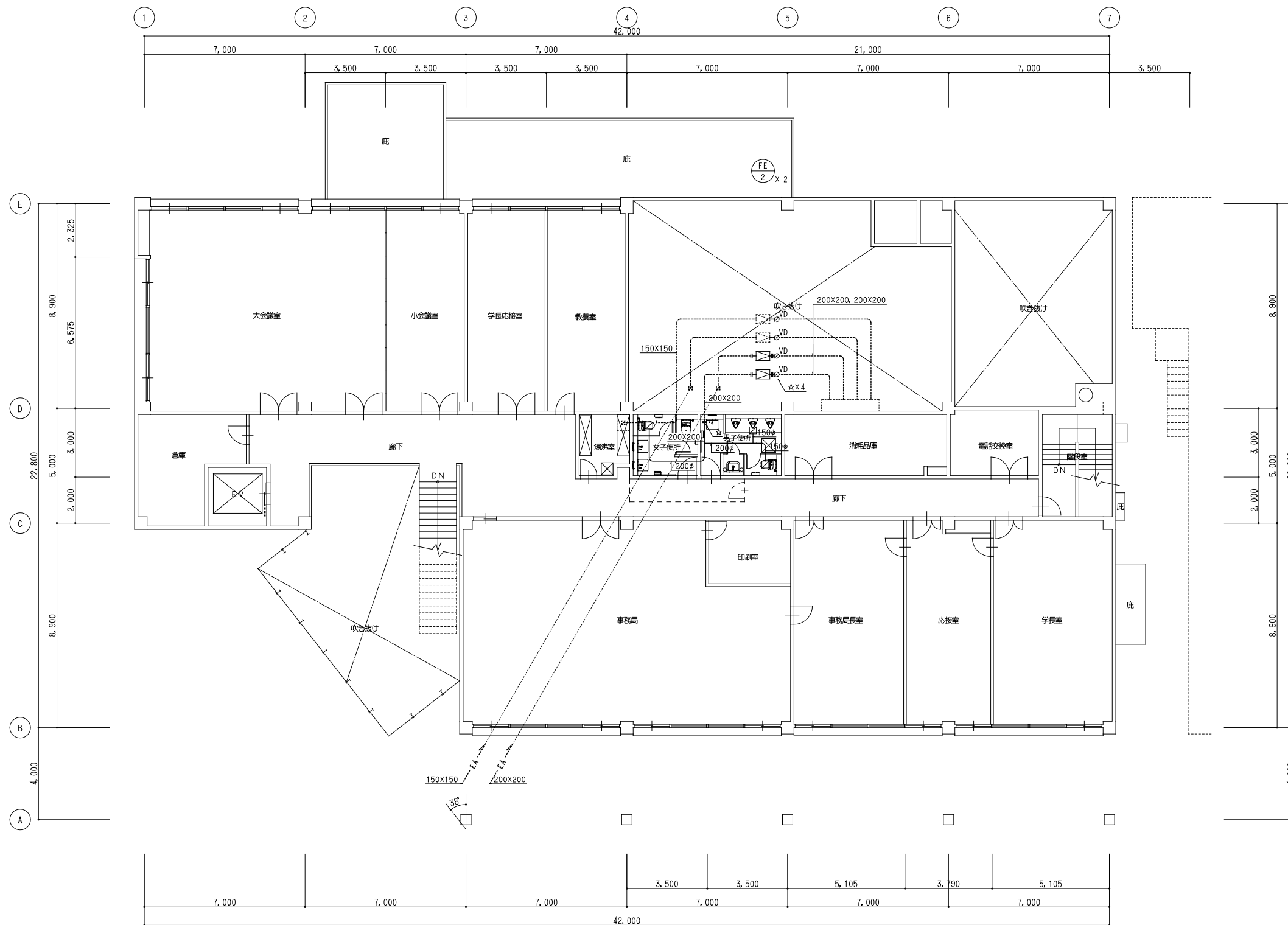
注記)
 ・図中点線部分は既設を示す。
 ・図中破線は階段ダクトへの接続を示す。

男子便所	2ヶ
HS	150X150
Q=	150C ϕ H(EA)
BOX	300X300X350H
女子便所	1ヶ
HS	200X200
Q=	250C ϕ H(EA)
BOX	350X350X400H

改修後

主要機器明細表

機器番号	機器名称	仕様	電源		台数	備考
			消費電力	相電圧(V)		
FE 2	排気ファン	ストレートシロッコファン 消音形	125 W	1	100	2
		#1 1/4X550m ³ /hX150Pa				
		防振用金具共				



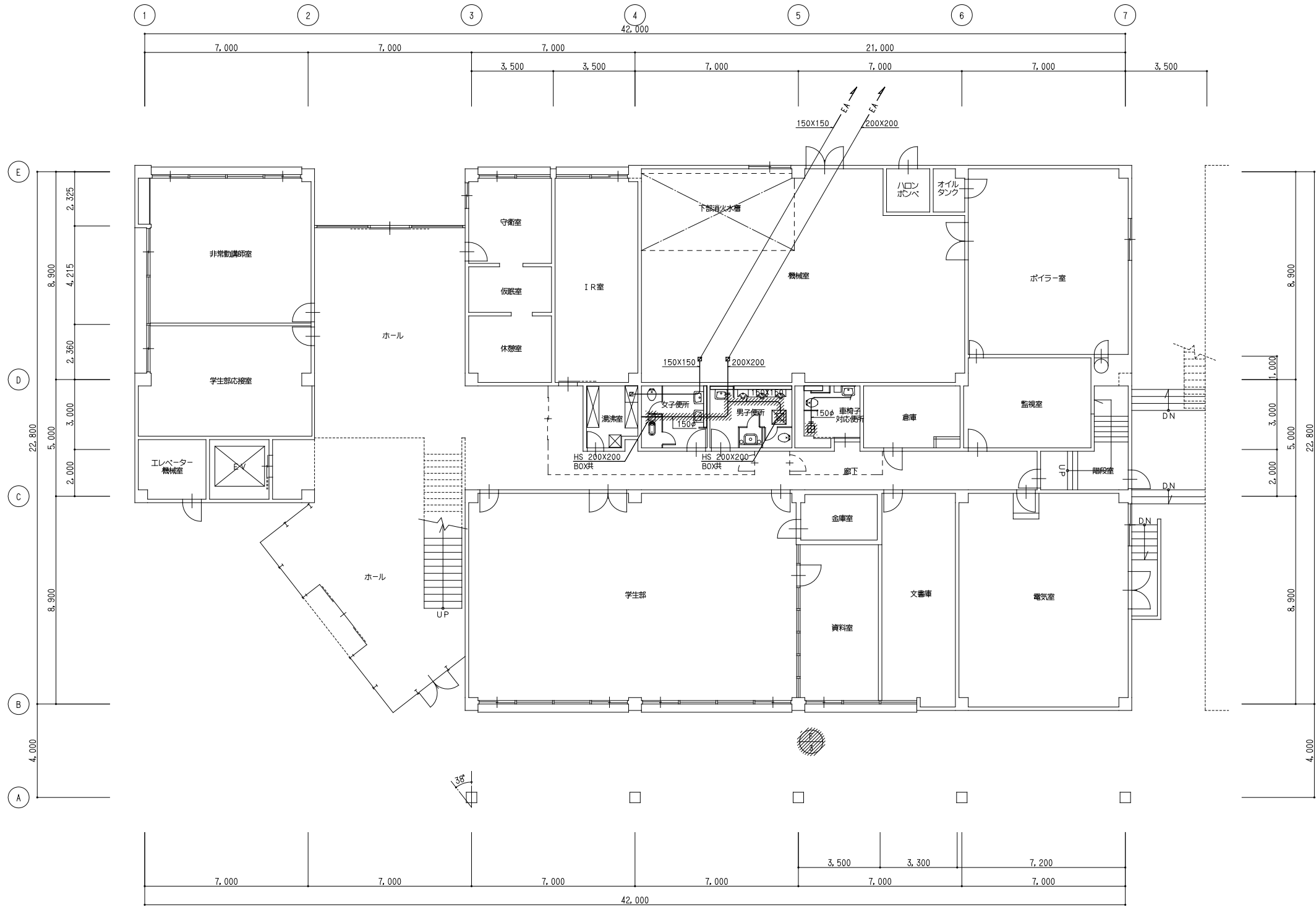
2階平面図 1:100

注記
 ・図中点線部分は設置を示す。
 ・図中☆は階段ダクトへの接続を示す。

男子便所	2ヶ
HS	150X150
Q=	150C ϕ (EA)
BOX	300X300X350H
女子便所	1ヶ
HS	200X200
Q=	250C ϕ (EA)
BOX	350X350X400H

改修前

撤去機器一覧表						
機器 番号	機器名称	仕様	電源		台 数	備 考
			消費電力	相 電圧 (V)		
F 3	換気扇	天井埋込形 低騒音形		1	100	1
		150φX250m ² /h				



1階平面図 1:100
 注記) 図中斜線部分は撤去を示す。

